

会長のページ	支払基金改革	河野 雅行	3
日州医談	宮崎県における女性医師支援	荒木 早苗	4
就任挨拶	教授就任挨拶	亀井 直輔	6
随 筆	モロッコ2,600kmバスの旅	高崎 眞弓	8
	人との出逢い：恩師の思い出		
	その3 戦後、大学入学前まで	森 憲正	10
	日南市観光	石橋 俊秀	12
特 集	宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業		
	第12回 開講50周年事業～将来を担う次世代に～	東 美菜子	14
エコー・リレー (592)		高石真那斗, 松本 健吾	22
宮崎グルメ探訪	元祖 貝汁とちょこっと鮨(宮崎市)	谷口 二郎	23
メディアの目	かば先生へ～子どもへのまなざし, 今も	中川 美香	24
身近なお困りごと相談室		高山 桂	25
宮崎大学医学部だより	発達泌尿生殖医学講座-小児科学分野-	此元 隆雄	30
部会だより	産業医部会	池井 義彦	31
診療メモ	がんの陽子線治療	荻野 尚	72
宮大医学部学生のページ	研究室配属について		
	～麻醉生体管理学教室～	安東 知晃	74

叙勲・祝賀		16
表彰・祝賀		18
あなたできますか？(令和5年度医師国家試験問題より)		21
宮崎県感染症発生動向		26
各郡市医師会だより(西臼杵郡医師会)		28
九州医師会連合会第418回常任委員会		32
宮崎県医師会親善ゴルフ大会		34
日医インターネットニュースから		36
医師国保組合だより		38
会員の異動・変更報告		40
ベストセラー		42
理事会日誌		44
県医の動き		50
ドクターバンク情報		51
行事予定		57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		59
令和6年総目次		76
あとがき		96

お知らせ	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	7
	年末・年始の休館について	33
	心不全療養指導士・心臓リハビリテーション指導士資格取得助成について	43
	令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	49
	日州医事へのご意見・ご感想	55
	郡市医師会への送付文書	90
	医師年金ご加入のすすめ	93
	医療勤務環境改善支援センター	94
	日州医事原稿募集のお知らせ	95

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

ノスタルジー

薄暮の頃。青く染まった空に、榎原駅の特徴的な三角屋根が浮かび上がる。やがて「ガタンガタン」とジョイント音を響かせながらJR日南線のディーゼルカーがゆっくりとやってきた。朱色とクリーム色に塗り分けられた車体色は、国鉄時代に活躍した車両をイメージしたもの。一人も乗客のいない駅には、寂しさと、どこか懐かしさが漂っていた。

宮崎市 木佐貫 冬 星 (会員家族)

会長のページ

支払基金改革

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

一昨年、支払基金審査事務業務がセンター化されました。全国を6つのブロックに分け、九州においては福岡に九州審査事務センター、熊本に同センター分室が置かれ、宮崎県は熊本県と鹿児島県以外の九州各県とともに九州審査事務センター（福岡）に集約されました。これは審査事務業務の効率化を図ることが大きな目的です。宮崎の事務所職員が半減しても業務量は変わらない中で、従来の地域に応じたサービスが可能なかの懸念には、審査事務業務はAI利用が進み業務自体に支障はないとの説明です。

一方、審査委員会委員による審査業務は従来どおり各都道府県で行われています。センター化することにより、以前からいわれていた審査内容の標準化、レベルアップなども目論まれているようです。

私が審査委員をしていた当時は、紙のみの審査で1日数時間4～5日を要して、手の腱鞘炎や頸・肩こりを来すなど結構な労力を要する作業でした。昨今は審査にもAIを導入して楽になったように見えますが、審査内容のハードさは変わらず、加えて標準化に合わせる努力や働き方改革などのさまざまな問題が生じており、審査員のなり手が少ないとも耳にします。

既述のように、審査基準標準化は以前から指摘されてきました。皆保険の建前からは、審査は全国一律で青本どおりに執行するのが理想ですが、青本の解釈が複数になる場合も多々あり、そこに地域特性があったと思われます。審査基準標準化のため、過去には隣県レセプトの交換審査を試みられたこともありました。センター化されたことにより標準化は一歩進んだようです。それはそれで結構なことではあります。さらに、以前から審査委員会自体に対するさまざまな批判的意見もありました。今後、AI審査が主体となれば審査委員会不要論が再燃する恐れもあります。効率化、標準化等々の面のみから言えばAIに勝るものはありません。しかし機械的な審査による一刀両断ではあまりにも無味乾燥な感があります。AI審査ではAIに合致するような診療を迫られることとなります。いわゆるAI診療になり、人間相手の医療に人間味がなくなるような気がします。今までさまざまな取組みがなされましたが、遅々として進まなかったのが今回のセンター化により一気に進展しそうな感があります。しかし制度改革は一朝一夕では成りません。無理に行えば綻びが生じて破綻します。それでも今後はAI審査が進み全国一律に向かうでしょうし、さらに一部では国保との審査基準標準化も試みられているようです。これも将来は審査基準標準化のみではなく全保険の統合が予定されているのでしょうか。

(令和6年11月18日)

日州医談



宮崎県における女性医師支援

宮崎県医師会 常任理事 ^{あら き さ なえ}
荒 木 早 苗

令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計の結果では女性医師数は8万人を超え、全体の23.6%を占めている。若い年代ほど女性の割合は高く、29歳以下では36.2%となっている。宮崎大学医学部医学科では在学生の45%が女子学生となっている。

医師に限らず社会の中で働く女性が増え、働きながら出産・育児をする労働者を支える仕組みや家族をケアしながら働き続けるための仕組みは整いつつある。育児休業や子の看護休暇など、育児に関わる休業制度はほぼすべて男女別け隔てなく利用でき、また新生児期に父親が育休を取得できる「産後パパ育休」や、夫婦ともに育休を取得することで子どもが1歳2か月になるまで延長して休業を取得できる「パパ・ママ育休プラス」などの制度もある。

とはいうものの、医療現場においては患者の緊急時対応をはじめ長時間の勤務、医師不足による同僚医師への負担増加の問題もあり、なかなか希望どおりには制度を活用しづらいとの声もある。宮崎県医師会では、女性医師がどのライフステージにおいても仕事と家庭の両立ができる働きやすい環境を整備するための取組みを実施しているが、支援の対象となる医師や医療機関に十分に情報が行き届いていないこともあり、今回保育支援サービス事業を中心に、その他の本会の取組みも紹介させていただく。

女性医師等保育支援サービス事業

宮崎県医師会が養成した保育サポーターが女性医師の子ども(生後6か月～12歳)の一時預かりを行う事業で、平成27年度より開始し、今

年10年目を迎える。事業開始前の女性医師のヒアリングにて子育てに関する困りごととして、「保育園のお迎えの時間に間に合わない」「習い事や塾に行かせてあげられない」「夜間の研修会に参加できない」「病気回復期にも親が遠方で援助を受けられない」「既存のファミリーサポートでは担当の保育サポーターの都合が悪いときには利用することができない」

などの意見があり、医師が安心して預けられるシステムづくりを行ったものである。

本事業の特徴の1つ目は、地域医療や女性医師の仕事に理解のある保育サポーターを県医師会が養成していることである。保育サポーターの養成講座は県医師会主催で開催し、通常の保育サポーター養成の講座内容に加えて、女性医師や地域医療の現状を伝える講座を取り入れている。また、サポーターの質を高めるために定期的にスキルアップ研修や意見交換会を実施している。

次に、担当の保育サポーターの都合が悪いときでも医師が必要なときに必ずサービスを利用できるよう、保育サポーターがシフト制で待機する仕組みを整えていることである。これは女性医師のために開始したことであるが、有償ボランティアの立場である保育サポーターにとっても、無理をせず継続して本事業に協力していただける効果にもつながっていると思われる。

また年に1度、全保育サポーターと利用医師親子が一堂に会する「全体顔合わせ会」を開催している。子どもの成長・進級にともなう援助活動内容の変更の確認、担当サポーター以外の

サポーターとの顔合わせ、子育て中の医師同士の交流・情報交換などを行っている。なお、この会にはたくさんの小さな子どもたちも参加するため、宮崎大学医学部医学科の男女学生10名程度にも子どもたちの見守りや遊び相手として参加してもらっているが、子育てしながら働く先輩医師の姿を見ることにより自分たちの将来像を考えてほしいとの目的もある。

現在、保育サポート会員は約40名、女性医師利用会員は約60名（これまでに約90名の女性医師が利用）で、令和5年度の利用実績は537件（542人）、最近は年間500件以上の利用がある。援助内容は送迎（保育園や学童への迎え、習い事への送迎）、学校が休み時の預かり、病後児の預かりなどであるが、自家用車使用による送迎が圧倒的に多いため、援助活動時の「傷害保険」に加え「移動サービス専用自動車保険」にも加入している。現在の保育支援サービス提供は宮崎市、国富町、綾町に限定されているため、今後は県内各地域の実情に応じた支援のあり方の検討が必要であると考えている。

保育支援サービス事業以外にも以下のような取り組みを行っている。

女性医師等就労環境改善支援事業

女性医師らの仕事と家庭の両立を図るための職場環境整備で、

- （１）短時間勤務制度の活用
- （２）日直・当直、時間外勤務の免除
- （３）オンコールの免除

（４）その他、就労環境の改善に係る取り組みのいずれかに該当するものに取り組む医療機関を支援する事業である。上記に該当する医療機関は多いと思われるが、残念ながら例年申請医療機関は少ない状況である。

女性医師復職・再研修・キャリアアップ支援事業

子育てや介護により離職中や休職中（育児休業含む）の女性医師、または子育てや介護によりこれまでに離職や休職（育児休業含む）を経験した女性医師を対象とする事業で、対象の女性医師が復職・再研修・キャリアアップを支援する県内外の研修会へ参加する場合や、復職・

再研修プログラムを提供している県内の医療機関で研修を行う場合に研修費用の1/2を補助するものである。

マタニティ白衣などの無料貸し出し

妊娠中の医師にマタニティ白衣・スクラブ・パンツを無料で貸し出している。医師会員でなくても利用可能であり、今後の支援にもつながるきっかけとなるため、対象者にはぜひお声掛けいただきたい。

研修会時無料託児サービス

県/郡市医師会主催の研修会には日本医師会より託児サービス併設費用が補助される。育児中の女性医師らの学習機会を確保するために、郡市医師会主催で研修会を開催する場合にも積極的に託児サービスの設置をお願いしたい。

婚活支援事業

県医師会が婚活事業者と提携し、仕事が忙しくて出会いの少ない医師に出会いの場を提供している本会独自の事業で、男性医師・女性医師を対象としている。毎回、職種や条件を設定してのイベントを開催している。

女性医師等相談窓口

出産や育児・保育に関すること、勤務環境に関すること、復職に関することなどの相談の他、男性医師や事務担当者などからの勤務環境整備に関する相談なども受け付けている。気軽にご相談いただきたい。

セミナーや情報交換会の開催

ワークライフバランスセミナー、管理者向けセミナー、医学生向けセミナー、情報交換会などを開催している。今年度は令和7年1月31日（金）に日本医師会や厚生労働省、日本産科婦人科学会などでも、働き方改革に関連する委員会の委員を数多く務めておられる日本赤十字社医療センター第一産婦人科部長 木戸道子先生を講師にお招きして「医療現場のワークライフバランスセミナー」を開催予定である。ぜひ、多くの先生方・関係職員の方々にご参加いただきたい。

就任挨拶



教授就任挨拶

宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科学分野 教授 かめ い なお すけ 亀 井 直 輔

2024年10月1日付で、宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科学分野の教授を拝命いたしました、亀井直輔と申します。この場をお借りして、宮崎県医師会の皆様にご挨拶申し上げます。

私は広島大学を卒業後、そのまま同大学整形外科に入局し、関連病院や理化学研究所での7年半を除き、約20年間広島大学に勤務しておりました。臨床では脊椎脊髄外科を専門とし、研究では主に脊髄や軟骨の再生医療に取り組んでまいりました。出身は大分県別府市ですが、小学1年生のときに広島カープが初めて日本一となった試合を観戦したことがきっかけでカープファンとなり、進学先に広島大学を選びました。広島ではカープの試合中継を楽しむだけでなく、広島大学在籍時にはカープのチームドクターを経験する機会も得ました。そしてこのたび、縁あって九州の地に戻り、宮崎で新たな挑戦を始める運びとなりました。なお、宮崎への移住に際して最大の懸念事項は、広島を離れることをためらっていた妻の反応でしたが、美しい宮崎の海を目にして以来すっかり気に入った様子で、ほっと胸を撫で下ろしております。

教授就任から1か月あまりが経過しましたが、「楽しく働く」をスローガンに医局運営を行っています。論語に「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。」という言葉があります。物事を楽しむ姿勢がモチベーションを高め、結果としてよりよいパフォーマンスにつながると信じています。日々の業務は必ずしも自分のやりたいことばかりではありませんが、少しでも前向きに、そして楽しんで取り組める環境を整えることが私の重要な役割であると考えています。

また、適切な挑戦を提供することでモチベーションを向上させることも重要です。広島で脊椎グループのチーフを務めていた際には、若手医師が早期に経験を積み、自信を持って活躍するための「Early exposure」と、心理的安全性を確保するため「ザッソウ（雑談のような相談）」を推奨していました。宮崎大学整形外科においては、すでに若手医師が高度な技術を持ち、コミュニケーションも活発で心理的安全性が確保されていると感じております。これらの強みをさらに伸ばし、地域医療への貢献を強化していきたいと思っております。一方で、学会発表や論文執筆といった研究成果の発信が課題であると認識しています。大学としてアカデミアの役割を果たすため、核となる人材を育成して研究を推進し、地域で培った技術や知見を全国、そして世界に発信できる体制を構築してまいります。

さらに、宮崎大学整形外科が強みとするスポーツ医学を一層発展させていきたいと考えています。宮崎県にはトップレベルのプロスポーツチームは少ないものの、野球やサッカー、ラグビーなどの日本代表チームのドクターとしての役割や、国民スポーツ大会、インターハイといった全国規模の大会への医療支援を行っています。これはスポーツ振興に注力する宮崎県の方針とも一致しており、行政との密な連携を図りながら、宮崎大学を全国有数のスポーツ医学の拠点に育てていきたいと考えております。

これからも地域医療の発展と学術的な成果の発信を通じて、宮崎大学整形外科をさらに飛躍させるべく邁進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

随 筆

モロッコ2,600kmバスの旅

宮崎市 ^{たか}高 ^{さき}崎 ^ま真 ^{ゆみ}弓

これまでもエジプトやトルコをちらっと訪れたことがある。西欧社会を模倣した日本で暮らしていると、これらイスラムの国々に強い興味を抱く。なにしろ、買い物をするにも値札がないのだ。イスラム国の中で一度は訪れてみたいと思っていたモロッコを、孫の大学生と一緒に訪れ楽しい体験をした。

平屋造りのホテル

旅の予習をしていて、モロッコに高速鉄道があるのに驚いた。スペインからだとも1時間ほどの船旅でモロッコに上陸できる。そこから高速鉄道で2時間、あの有名なカサブランカに着く。日本からだとも飛行機を中東で乗り換えて、丸一日かかる。カサブランカで飛行機を降りてから再び飛行機に乗るまでの9日間、毎日バスで移動。ディナーでレストランへ行くのもバス。バスの走行距離は2,600km。宮崎から東京を往復するくらいの距離である。

モロッコの面積は、係争中の西サハラを除いても日本の1.2倍、人口は日本の3分の1以下で3,500万人。まことに広々としている。モロッコでも都市のホテルは日本と同様、高層建築である。ところが、地方では平屋造りか、せいぜい2階建てである。土地がいくらでもあるからだ。平屋の部屋の入り口にはオレンジの木が茂り、黄色の実がついている。広い敷地に管理棟、いくつかの宿泊棟、食堂、プールなどが点在する。夕暮れに食堂へ向かい楽しい夕食を終えると、外は真っ暗だ。通路にかすかな明かりはあるが、明るいとときとまるで違う。慌てて「俺の部屋はどこだ」と探した。迷って食堂へ戻ってみると、食堂棟へ入った入り口と出たところが違っていた。迷子になるほど広い。

オリーブとナツメヤシ

国土の中央に東西に延びる山脈がある。オート・アトラスという山脈には4,000mを超える山があり、雪が降る。この山脈の北側には肥沃な平野が広がり、行けども行けども畑である。訪れたときは乾季の終わりで畑に緑はなかったが、次の雨季に備えて耕耘されていた。山に雑木はなく、山の上まですべてオリーブの木だ。見事な農業国である。

一方、山脈の南側は岩と砂漠だ。バスで走っていると、岩と砂漠の中に突然、緑地が現れる。山脈からあふれ出た地下水のオアシスだ。そこにはナツメヤシが茂る。「一家に1～2本ナツメヤシの木があれば、飢饉があっても家族は餓死しない」といわれている。マラケシュの街路樹はナツメヤシかオレンジである。いずれも実をつけている。現地ガイドは「誰が採って食べてもいい」という。さすがイスラム国だ。

山脈の北側も南側も土の色は赤褐色。日本という弁柄色。土だけでなく、家々もすべて赤褐色。レンガやブロックを積み重ねた家は、内装も外装も赤褐色の漆喰で固めてある。

タジンとハリラ

タジンは、肉または魚と野菜を時間をかけて煮込んだ料理で大変うまい。鶏肉や牛肉のタジンもうまかったが、イワシとジャガイモの煮込みタジンはまことにうまかった。最後に残った分まで平らげたら、翌日下痢をして、慌てて下痢止めを飲む始末。タジンには味付けのためか、必ずオリーブ、ナツメヤシ、イチジクが入っている。朝食会場にも三角錐のタジン鍋が弱火にかけて置いてあるが、さすがに朝から食べる気は起きなかった。味が濃いのだ。

昼食や夕食には、ハリラという豆のスープがよく出た。ひよこ豆、玉ねぎ、トマト、小麦などで煮込んだスープだが、小さなどんぶり風の器になみなみと入っている。「ハリラを飲めば医者いらず」というほど栄養価が高いらしい。気温30℃前後で、汗をかくので水分補給も兼ねて飲んだが、私の口には合わなかった。

モロッコは独立するまでフランス領であったから、パンがおいしい。「地中海式ダイエット」のモロッコ料理は和食と同様、ユネスコ無形文化遺産に登録されている。イスラム国だが、ホテルやレストランではビールやワインが飲める。今回の8泊のうち、唯一シャウエンのホテルだけアルコールが御法度だった。

チップ大国

「カサブランカ」「アラビアのロレンス」など、モロッコで撮影された映画はたくさんある。国をあげて映画産業を推し進めているらしい。欧米映画で、ドアマンにそれとなくチップを渡す場面がある。「うまいな」と憧れて観ていたが、モロッコもチップ大国である。

当然、トイレへ行くにもチップがいる。トイレのチップは、1または2DH（ディルハム）だ。モロッコ通貨1DHは、日本円で15円だ。ヨーロッパに比べると割安だ。チップに慣れない我々は戸惑うが、ポケットに小銭を貯めておく必要がある。トイレは洋式便器だが、男性便所にまれにチューリップ型の小便器がある。使ってみたら、身長173cmの私がかかとを上げて背伸びをしないと届かない。モロッコ人はこんなに背が高い、いや脚が長いのか。

キャメルトレッキング

モロッコの南部で、もうすぐアルジェリアというところにメルズーガという砂丘に埋もれそうな町がある。ここがサハラ砂漠の入り口だ。ここの中級ホテルに泊まったが、引き出しは開きにくく、ドアは閉まりにくい。細かいところなど構わない、いかにもアフリカ風のホテルだ。ホテルの周りでは4輪駆動車が砂漠を走り回っている。

我々はホテルの裏口から夜明け前の6時にラ

クダにまたがり、サハラ砂漠へ向かう。これが今回の目玉、キャメルトレッキングだ。7時10分に砂漠から太陽が昇る。山から昇る太陽もいいが、雲ひとつない砂漠から昇る太陽は別格だ。砂はまことに微細で、日本では経験できない細かさだ。幸い無風であったが、風があるとその砂は目や鼻に入りカメラの中まで入り込むらしい。

ラクダはヒトコブラクダで小振りだ。ゆっくり歩くので、馬より乗り心地は快適。このラクダ、砂地を歩くからか、下り坂に弱い。下り坂の制御が難しいようで、紐でつながった後ろのラクダが、前のラクダの横まで来る。ラクダの頭がズボンに触れる。ラクダは牛と同じ反芻動物なので、よだれを垂らす。よだれがズボンにつく。

成田空港の検疫ゲートの前に「ラクダに触れた人は申告を」という掲示がある。サウジアラビアやアラブ首長国連邦のヒトコブラクダはMERS（中東呼吸器症候群）コロナウイルスを保有しているらしい。だいたい以前に韓国と台湾でMERSが発生したとき、致死率が高いことから医療従事者が逃げ出したことを思い出した。今回の旅行は中東ではなくアフリカだ。

ところが帰宅した翌日から咽喉痛があり、37.8℃の発熱があった。3日で治まったが、妻にうつしてしまった。

マラケシュ旧市街の雑踏

城壁に囲まれた旧市街の中の俗称フナ広場は、マラケシュの象徴的な場所だ。昼間にここを通り抜けて「バハ宮殿」へ行ったときは閑散とし、掃除人が石畳の前夜の汚れを洗い落としていた。ところが、日没が近づき広場に電燈が灯ると一変してにぎやかになる。突然目の前に蛇が現れ、飛びのいた。蛇使いが目の前にいる。そういうと、snake musicが流れている。

「旧市街で道に迷うと戻れない」という。1日迷い歩いて楽しめたかったが、うろつく時間がなかった。残念。

随 筆

人との出逢い：恩師の思い出
その3 戦後、大学入学前まで宮崎市 ^{もり}森 ^{のり}憲 ^{まさ}正

丸亀から郷里に戻った。終戦から2年近くが経っていた。多くの同僚はそれぞれの目標を持って進学していた。経済的に独立する必要がある、就職か進学か迷った。

広島に原子爆弾が投下された翌日、海軍兵学校教官も調査団に加わり、現地の調査後帰校してすぐ始まったのが原子物理学の講義であった。教官は原子物理学専門の小川岩男物理学教官（湯川秀樹の甥で戦後立教大学理学部物理学科教授）で、その講義に魅了され、物理学に惹かれるようになった。復員局、丸亀時代にも物理学解説書などを読み漁っていた。

物理学専攻を視野に入れながら中学校の物象科を訪ねていたが、物象科の助手になることを勧められ、理科実験の手伝いを始めた。当時は物理学と化学を併合して物象科となっていた。しかし終戦後の学園は殺伐とした雰囲気、生徒は戦時中の束縛に反発してか自由を主張し、理由もなくストライキと称して山に立て籠もるなどして将来の希望は見え難く、中学生の生活も荒れていた。

奇妙な教師にも出逢った。昼食時にアメリカ帰りの老牧師が野外で英会話を教えていると聞き、参加してみた。英会話の合間に、精神教育として日本再建の道を説いていた。曰く、明治以来日本国は10年ごとに戦争をして国運を伸ばしてきた。10年間我慢して、またアメリカと闘おうと檄を飛ばしていた。しかし江田島から帰郷するとき、原爆で壊滅した焼野が原の広島を直に見た者としては賛同できなかった。

このような状況下で、母が高血圧で病床に臥してしまった。4～5軒離れた処に菊川医院があり、亡くなられた先代の菊川潔先生の後を、満鉄病院から引き揚げて来られた弟の菊川満先

生が引き継いで診療しておられた。往診のたびに患者そっちのけで話が弾み、医院に薬を取りに行ったついでに、何時の間にか患者がいなときは診察室に招き入れられ、戦後満州からの引揚げ時の苦労話や四方山話をするようになって、生物学やドイツ語の手解きを受けるようになった。

母親の病状が落ち着いてきたころ、熊本市へ出て勉強してみる気はないかと勧められ、進学の意向を話したところ、菊川先生はすぐ五高の動物学教授高橋仁助先生へ連絡を取り、紹介していただいた。図学教室で助手を探しているとのことで、図学教室の教授池田一幸先生の助手に採用していただいた。高橋、池田両教授とは菊川先生を介しての偶然の出逢いである。図学教室助手の仕事は全く暇で、先生の計らいで時間があるときは旧制五高の数学、物理、化学の講義を聴講することができた。

GHQによる強制的な学制改革が進行しているとのニュースを漏れ聞いて、新制度の高等学校卒業生として新制大学を受験した方がいいのではないかと思い、高橋教授に相談したところ、すぐ済々黉高校教頭の木通邦武先生へ紹介され、面接で新制の済々黉高校夜間部4年に編入が許可された。当時の夜間部の教室には復員者も多く、戦時中の空白を埋めようと食糧難や生活苦と闘いながら皆真剣であった。物象科助手として勤務していた旧制鹿本中学の雰囲気とは全く違っていた。教室の窓ガラスは割れ、寒風が吹き込み、雪が舞うこともあり、外套を身に纏い、睡魔と闘いながら頑張っていた。昼間は旧制五高図学教室助手として勤務し、夜は新制高校夜間部の生徒として勉強することができた。明けて3月、晴れて新制高校を卒業し、新

制大学受験資格を得た。学制改革のため、昭和24年度の新制大学入学は9月になった。

母の病気で出逢った菊川満先生、菊川先生から紹介された高橋仁助教授、高橋教授から紹介された池田一幸教授、木通邦武先生。皆、天からの贈物であり、奇遇、奇縁としか言いようがない。

新制大学の入学試験では九大、熊大の両大学に合格したが、ここでも人生の岐路に立たされて、進路に悩んだ。しかし母の看病から離れることはできなかった。生活費、道路や交通機関の事情からも熊本を離れられず、熊大理学部乙に進学することに決めた。熊大理学部乙には新制高校卒だけでなく、復員学徒、旧制高校、専門学校などのいろいろな分野から入学していて、いろいろな人との出逢いがあった。

済々黌高校夜間部では、理学部甲へ進学した元陸軍伍長と出逢った。この友人はアルバイトを探す名人で、そのお裾分けで理学部乙の2年間はありとあらゆるアルバイトをやった。週末は母の看病のため、24キロの道を自転車で通った。

五高で図学教室助手時代にもいろいろな人との出逢いがあった。旧制五高の助手会の集まりで化学教室の助手と知り合いになった。彼は陸軍幼年学校で学び、終戦後復学を狙って助手の職に就いたと言っていた。化学が得意でいろいろなことを教えていただいた。熊大理学部乙に入学してみるとそこにも彼がいた。彼は理学部乙の過程を経て九大医学部へ進学し、以来音信が途絶えた。ところがオレゴン大学留学中、彼も甲状腺研究のためにオレゴン大学へ来て再会、1年間家族の交際が始まった。帰国後に再度音信不通になっていたが、国立病院機構宮崎東病院の院長として赴任して来て、再々度出逢うことになった。

彼の弟は熊大医学部で一学年下にいたが、卒業後東大耳鼻科に入局した。筆者が船医としてフィラデルフィアに入港している間に、ふらりと訪ねたペンシルベニア大学で留学中の彼に偶然出逢い、自宅へ連れて行って歓待していただいた。彼は帰国後、防衛医大教授に就任している。

旧制五高で聴講のため教室に出入りしていたとき、たまたま出逢ったのが江田島で隣の分隊

にいた77期生の一人と、中学時代に東京から転校して来て鹿本中学で同じクラスにいた友人であった。77期生は小倉中学出身で復員後すぐ旧制五高に転入学していた。復員服の筆者を見て直感的に筆者と判り、こんなところで再会するとは思わなかったと言っていた。彼は五高卒業後、京都大学農学部へ進学し、農林省に入省した。中学4年時、東京から疎開して来て、鹿本中学に転校して同じ組になった友人は鹿本中学から五高へ進学していた。卒業後は東京工業大学へ進み、八幡製鉄に就職した。後年、彼の妹と結婚したので義兄となったが、当時そのような運命を辿るとは夢にも思わなかった。旧制五高助手時代にはこの二人にも随分とお世話になり、助けられた。



五高赤レンガ本館前で、左から
鹿本中学からの友人、77期の友人、筆者

菊川満先生、高橋仁助先生のお二人には、日本育英会の奨学生採用時から、奨学金返済完了までの期間を通して保証人になっていただいた。感謝の他ない。菊川先生は後に下関市立病院に勤務後、下関市で開業された。



随 筆

日南市観光

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

日南市は北西側の北郷ゾーン（猪八重溪谷）、西側の酒谷ゾーン（坂元棚田、道の駅酒谷、小布瀬の滝）、中央の飫肥ゾーン（飫肥城下）、北東の日南海岸ゾーン（サンメッセ日南や鶴戸神社）、東側の油津ゾーン（日南駅、油津港周辺）、南東の南郷ゾーン（港の駅めいつ、マリンビューワーなんごう、道の駅南郷）の6つに区別されている。

A 北郷ゾーン

猪八重溪谷には世界でも珍しいニチナンゴケなど300種類以上のコケの宝庫だ。森林セラピー基地の認定を受けており、滝のマイナスイオン効果で癒やされるパワースポットだ。最終目標の「五重の滝」まで行くには約2時間掛かるとパネルに記載されていた。今回は準備不足だったので『次回挑戦したい』と思った。

令和5年10月1日に「道の駅きたごう」がオープンした。芝生広場、遊具広場（子ども用遊戯施設）、ピザ屋（レディ・ゴーランド）、レストラン（米粉麺専門店「無敵」、かつを専門店）と地元野菜などの物産館が併設されている。私が訪れたときには隣接する畑にコスモスが咲き誇っていた。

B 酒谷ゾーン

小布瀬の滝は日南市酒谷から串間市に向かうアジサイロード近くにある。滝の高さは23mで幅が3mあり、水量は毎分12トン前後、直径15mの滝壺が形成されているそうだ。

C 飫肥ゾーン

飫肥城は天正15年（1587年）飫肥初代藩主伊東祐兵が、豊臣秀吉の九州征伐の軍に従った功によって賜った城だ。

最初に小村寿太郎記念館に入場した。そこで泰平踊の再現映像を観た。江戸の昔からこの地方では武士と平民が同じ土俵で祭りに踊り継がれた伝統芸能だ。侍と奴が武士の気品と元禄の優雅と格式の高さを今に伝えていて、今町（鶴）と本町（亀）の2つの違った踊り方がある。次に豫章館に行った。明治以降の藩主の住まいだった。「上向き地蔵」という変わったお地蔵様が安置されていた。出口に向かう途中で「しあわせ杉」を見付けた。4つの角にある4本の杉の対角線の中心に立つと幸せパワーがもらえるそうだ。

観光目的で買った本にも掲載されているおび天本舗に行ってみた。ここの景品は魚のすり身、豆腐、卵、味噌と黒砂糖を加えて仕上げた伝統食品だ。食べてみたら豆腐ハンバーグのようで予想どおりに美味しかったので、土産とした。オビダラリーは飫肥杉ダラケなギャラリーで、杉の香りがする何度でも使える「飫肥杉箸1セット」が景品だった。家族用に5セット（750円）を購入した。紀風屋小町の景品には「お手玉」をもらった。ここではいろんな和雑貨を販売していたので、アマビエを模した疫病退散の御守を買った。17時ごろ駐車場に戻って「四半的射場」に行ってみたら、16時半で閉店していた。昼間だと8射/450円となっていた。他の店も15時半ごろで閉店する所があるので、事前調査不足を痛感した。

D 日南海岸ゾーン

サンメッセ日南では、世界で唯一イースター島の長老会から特別許可を得て完全復刻した7体のモアイ像が迎えてくれる。大人の入園料は1,000円だった。園内は急斜面になっているので、歩くと結構きつそうだ。子どもや足が不自

由な人にとって電動のラウンドカー（30分コースで1,000円）は非常に便利だ。

最初に「太陽の丘 蝶の地上絵」を見た。4羽の蝶が描かれていた。次に太陽の階段を上り、頂上の「地球感謝の鐘」に至った。春分の日と秋分の日を年2回、7体ある真ん中のモアイ像の背中から昇った朝日が天空の塔の10cmの隙間を通り、太陽の階段を駆け上り、頂上の「地球感謝の鐘」の中央に差し込むように設計されているようだ。

恋人の丘にはモアイ像2体の間に真っ赤なハートのオブジェが置いてあった。近くにカラフルな7色のヴォワイアン像があり、撮影スポットになっていた（写真1）。ヴォワイアン像は滋賀大の今井名誉教授の作品で当地に寄贈されたもので、「ヴォワイアン」は「見る人」の意味だそうだ。



写真1 ヴォワイアン像と筆者

サンデッキからは遠くのモアイ像7体がよく見え、撮影スポットにも最適だ（写真2）。モアイ像に触れると運気がアップするというジンクスがある。右から2番目のモアイに触れると金運、左から3番目のモアイに触れると恋愛運が上昇すると言われている。左から順番に、仕事運、健康運、恋愛運、地球の平和（夢叶う）、結婚運、金運、学力UPと紹介されている。



写真2 モアイ像

出口付近のタイルにはモアイ像などの美しい絵がたくさん描かれていて、疲れを忘れさせてくれた。最後に売店で、土産として「モアイのおやつ」「モアイの絵葉書」を購入した。

鵜戸神宮の本殿まで駐車場から徒歩約15分の距離だった。参道には鵜戸神宮の神使とされるうさぎの像を多数見かけた。「撫でうさぎ」にタッチすると、病気平癒や開運などの御利益があると言われていると説明書に書いてあったが、忘れていた。一説によると、主祭神である鵜草葺不合尊の「鵜」の字から「卯」と「兎」へと転じて、うさぎが神使になったとされる。願い事を書く絵馬も、もちろんうさぎの形。

入り口の亀石に向かって運玉を投げる人（男性は左手、女性は右手）が数人いた。亀石のくぼみに投げ入れて見事に入れば願いが叶うといわれているので、しばらく観察した。帰りがけに運玉（5個200円）を買い、運玉投げに初挑戦した。左手のアンダースローで投げた1投目が見事に亀石のくぼみへ入ってしまった（写真3）。自分でも吃驚した。残念ながら2～5目はすべて外れてしまった。



写真3 鵜戸神宮の亀石

E 南郷ゾーン

マリンビューワーなんごうは日南市南郷町から1時間おきに出航していて、約40分間の水中探検で2,200円。8月6日(日)は台風の影響で波が荒かったので、出航できなかった。

港の駅めいつのレストランは昼時で賑わっていた。当店の一番人気の「カツオ炙り重(1,500円)」を注文した。目の前の海を眺めながら、カツオを炙っていただいた。刺身ではなく、焼き過ぎでもないのので、『しゃぶしゃぶに似ている』と思った。

特 集

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業



開講 50 周年



第12回 開講50周年事業～将来を担う次世代に～

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 あずま 東

み な こ
美菜子

医師会の皆様におかれましては、宮崎医科大学・宮崎大学医学部開講50周年事業に関し多大なご支援やご協力を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りし心よりお礼申し上げます。

次の50年に向けた【医療人育成共創拠点形成事業】を含め、これまで行ってまいりました事業をご紹介します。宮崎の医療を担う次世代への思いを共有させていただきたく存じます。

【イメージキャラクター】

開講50周年のシンボルとして作成された「Dr.ミヤズク」は、学生を対象に募集したもので、医学科5年生の松元亮弥さんが考案されました。50年積み重ねてきた歴史を表現するために“知”の象徴とも言えるフクロウをモチーフとし、宮崎大学医学部を示すエンブレム入りの白衣を着たキャラクターとしてデザインされたものです。開講50周年記念事業のさまざまな場面で登場し、親しまれています。



50周年記念事業 イメージキャラクター「Dr. ミヤズク」

【医学部市民公開講座】

事業の一環として開催、お子様からご高齢の方まで、多くの参加者が講演や体験ブースで1日楽しまれました。スペシャル健康講座には工藤公康氏（福岡ソフトバンクホークス元監督）が「野球と私の人生」と題し講演されました。講演会の後には、みやざき犬とともにサイン色紙抽選会や書籍購入者限定サイン会も行われ、参加者は工藤元監督とのひとときを楽しみました。

医学部市民公開講座
(令和6年8月4日JA・AZMホール)

【宮崎医科大学・宮崎大学医学部開講50周年記念式典・演奏会/記念祝賀会】

卒業生や関係者、海外協定校の方々など、国内外から約300名が参加しました。バイオリニスト徳永二男氏のリサイタルでは素晴らしい音色に酔いしれ、また、祝賀会では思い出話に浸りつつ、次の50年に向けた未来への決意を共有しました。



開講50周年記念式典・演奏会/記念祝賀会
(令和6年10月13日シーガイアコンベンションホール)

【医療人育成共創拠点形成事業】

将来を担う次世代を支援するための清武キャンパスの施設整備を展開しており、これまでに、附属図書館医学分館改修や臨床シミュレーション演習ルーム整備、学生食堂リニューアルなど行っております。記念事業の目玉として、開学当時の姿を残す臨床講義棟205号教室をリニューアルした記念講堂設立を計画しております。国際会議にも対応できる最新式プレゼンテーション機器をそろえた臨床記念講堂へ改修したいと考えております。

引き続き皆様の温かいご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



図書館



学生食堂



臨床講義棟205号教室リニューアル イメージ図

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学
開講50周年記念事業ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/50thanniversary/>

記念事業へのご寄付に、何卒ご協力お願い申し上げます。



開講50周年記念事業
ホームページはこちら

叙勲・祝賀

瑞宝中綬章

おさ だ ゆき お
長 田 幸 夫 先生（宮大医）

令和6年11月3日、教育研究功勞により瑞宝中綬章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



瑞宝小綬章

かわ な たか し
川 名 隆 司 先生（宮 崎）

令和6年11月3日、保健衛生功勞により瑞宝小綬章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



瑞宝双光章

みね かず ひこ
峯 一 彦 先生（宮 崎）

令和6年11月3日，保健衛生功勞により瑞宝双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



表彰・祝賀

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

しゅ どう けん じ
首 藤 謙 二 先生（宮 崎）

令和6年10月11日、精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



精神保健福祉事業功労により宮崎県知事表彰

かわ の まさ ひこ
河 野 仁 彦 先生（都 城）

令和6年10月19日、精神保健福祉事業功労により宮崎県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

つ もり しんいちろう
津 守 伸一郎 先生（宮 崎）
か い まさ ひろ
甲 斐 真 弘 先生（西 都）

令和6年10月21日、国民健康保険に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



津守 先生



甲斐 先生

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

しば た ひろし
柴 田 博 先生（宮 崎）
ふじ もと せいじろう
藤 元 静二郎 先生（都 城）

令和6年11月7日、学校保健功勞により文部科学大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



柴田 先生



藤元 先生

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

よし まつ まさ あき
吉 松 正 明 先生（都 城）

令和6年11月7日、社会保険診療報酬支払基金に関する功績により
厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

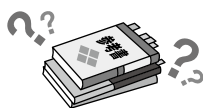


学校保健功績により日本医師会長表彰

とみ た せいいちろう
富 田 精一郎 先生（延 岡）

令和6年11月9日、全国学校保健・学校医大会において学校保健功労により
日本医師会長表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。





あなたできますか？

—令和5年度 医師国家試験問題より—

(解答は35ページ)

1. ノーベル生理学・医学賞を受賞した日本人研究者と研究内容の組合せで正しいのはどれか。
 - a 大隅良典 ———— 免疫チェックポイント阻害因子の発見
 - b 大村 智 ———— 抗体の多様性に関する遺伝的原理の発見
 - c 利根川進 ———— 寄生虫感染症の治療法の発見
 - d 本庶 佑 ———— オートファジーの解明
 - e 山中伸弥 ———— 多能性幹細胞〈iPS細胞〉の作製
2. 窒息後に意識を消失して倒れた人に対し、まず行うべき対応はどれか。
 - a 胸骨圧迫
 - b 背部叩打
 - c 腹部突き上げ
 - d 口対口人工呼吸
 - e 口腔内異物除去
3. 骨盤外傷を疑う患者の診察で誤っているのはどれか。
 - a 血圧変化を確認する。
 - b 下肢脚長差を確認する。
 - c 骨盤周辺の打撲痕を確認する。
 - d 外尿道口からの出血を確認する。
 - e 背部の外傷は側臥位にして確認する。
4. 複視をきたす疾患はどれか。2つ選べ。
 - a 視神経炎
 - b 甲状腺眼症
 - c 滑車神経麻痺
 - d 顔面神経麻痺
 - e Horner症候群
5. 脾腫の原因とならないのはどれか。
 - a 肝硬変
 - b Rotor症候群
 - c 日本住血吸虫症
 - d Budd-Chiari症候群
 - e 特発性門脈圧亢進症
6. 笛音〈wheezes〉の原因となるのはどれか。3つ選べ。
 - a 気 胸
 - b 無気肺
 - c 左心不全
 - d 気管支喘息
 - e 慢性閉塞性肺疾患
7. 成人男性の急性腎盂腎炎をきたす原因で最も頻度が高いのはどれか。
 - a 性感染症
 - b 過活動膀胱
 - c 糖尿病腎症
 - d 間質性膀胱炎
 - e 尿管嵌頓結石
8. 無痛性虚血性心疾患をきたしやすいのはどれか。
 - a 糖尿病
 - b 骨粗鬆症
 - c 気管支喘息
 - d Parkinson病
 - e 胃食道逆流症
9. 72歳の女性。①尿量の減少を主訴に来院した。4日前から嘔吐と下痢があり食事が低下していた。2日前から全身倦怠感が出現し、今朝から尿量が減少したため受診した。12年前から高血圧症で降圧薬を内服している。身長154cm、体重48kg（2週間前の体重51kg）。脈拍108/分、整。血圧100/52mmHg。口腔内は乾燥している。胸部と腹部の診察で異常を認めない。尿所見：蛋白1+、潜血（-）、沈渣に赤血球1～3/HPF、白血球1～2/HPF、円柱はない。尿生化学所見：②尿Na10mEq/L。血液所見：赤血球300万、③Hb10.0g/dL、Ht31%、白血球9,200、血小板35万。血液生化学所見：尿素窒素70mg/dL、④クレアチニン2.5mg/dL（1か月前の採血では0.9mg/dL）、Na138mEq/L、⑤K5.5mEq/L、Cl98mEq/L。
下線部のうち、急性腎障害の原因の鑑別に有用なのはどれか。
 - a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
 - e ⑤
10. 38歳の男性。交通外傷後の右胸部痛と呼吸困難とを主訴に救急車で搬入された。乗用車運転中に中央分離帯に正面衝突し胸部を強打した。意識は清明。体温35.4℃。心拍数108/分、整。血圧88/60mmHg。呼吸数28/分。SpO₂88%（リザーバー付マスク10L/分 酸素投与下）。瞳孔径は両側4mmで対光反射は正常である。発声は可能で口腔内分泌物はない。毛細血管再充満時間3秒である。皮膚には冷汗と湿潤を認める。頸静脈の怒張がみられる。右胸部は視診で胸郭膨隆、触診で皮下気腫、打診で鼓音および聴診で呼吸音減弱を認める。心音に異常を認めない。
直ちに行うべき治療はどれか。
 - a 胸腔穿刺
 - b 低体温療法
 - c 浸透圧利尿薬投与
 - d 乳酸リンゲル液大量投与
 - e 非侵襲的陽圧換気〈NPPV〉

エコー・リレー

(592回)

(南から北へ北から南へ)

常識を打ち破れ！

日向市 日向たかいしクリニック 高^{たか}石^{いし}真^ま那^な斗^と

「事業というやつは、抜け目がないとか、しっかりしているとかいう人間ばかりでは成功しませんな。真に創造的な人間はオッチョコチョイかもしれないね。とにかく常識のワクを破らなくちゃいけないんだから。」

(本田宗一郎)

「日向たかいしクリニック」を開院して早2年が経過しました。当院の外来時間は医療界の常識を打ち破った点があります。

- 1 平日の外来は15時～19時のみ(午前なし)
- 2 休診日は日曜日と月曜日
- 3 土曜日は午前・午後ともに診療
- 4 火曜日～土曜日は祝日でも診療

私が調べた限り、県内に平日午前に外来を行わない医療機関も、月曜日を休診にしている医療機関も存在せず、おそらくどちらも県内初だと思います(もし、すでにいらっしゃったら申し訳ございません。こっそり教えてください)。諸先輩方から「高齢者は午前中が好きだよ」「月曜日は書き入れ時だ」と多くのアドバイスをいただきました。ただ、学生や働いている世代が通いやすいクリニックを目指していたことと、皆さんと一緒に面白くないという思いもあり、挑戦しました。

おかげさまで毎日多くの予約をいただき、翌日の受診を案内せざるを得ないことも多々あります。患者の4割が10～30代で、患者の平均年齢が40.8歳(2024年9月期)という、内科診療所とは思えないような患者層となっています。

※私は夜型人間ですので午前中はぐっすり寝たいのですが、平日の午前中は寝ているわけではなく訪問診療を行っています。ネムイけど…。

[次回は、小林市の遠藤 穰治先生をお願いします]

油 画

宮崎市 宮崎大学附属病院血液内科 松^{まつ}本^{もと}健^{けん}吾^ご

“La pintura es sólo una manera diferente de pensar en color.”

「絵画とは、色彩によって考えることだ」とはかの有名なパブロ・ピカソの言葉です。色彩によって考えるとは抽象的ですが、本質

を突いています。恐らく色彩感覚は個々人によって異なるのでしょう。同じモチーフをもとに複数人で静物画を描く機会がありました。構図はもちろんですが、色彩はもっと異なりしました。その人が美しいと感じる色、その組み合わせはその人にしかないものなのだと私は思います。個性は色彩感覚の違いから来るものではないでしょうか。

輪郭を追うことは哲学です。例えば、親指を正面から見てみてください。そしてゆっくりと回転させると親指と空間の境界線が移り変わっていくのを感じることができます。空間と物質の関係性をとらえていく作業はまさに“考えること”なのでしょう。自分独自の感覚(色彩)をもって輪郭を追うこと(考えること)で唯一無二の作品を仕上げていく。ピカソの言葉を私なりに意識するとこんな解釈になります。

ちなみに私が油画を始めて臨床に役立った点が1つだけあります。それは軟膏類のグラム数が肌感覚でわかることです。プロペト®50gは絵具チューブであれぐらいの量だとわかって過不足なく処方ができます。臨床力の向上にもつながる(?)油画を皆さんぜひ始めてみませんか。

宮崎県医師会では医家展を県立美術館で開催しています。皆様の来年のご来場をお待ちしております。

[次回は、宮崎市の長井 慎成先生をお願いします]

宮崎グルメ探訪 No.14



元祖 貝汁とちょこっと鮎（宮崎市）

宮崎市 谷 口 二 郎

寿司屋が苦手という人も多いのではないだろうか。その理由の一つが、店に入ると「時価」という札がぶら下がっているからだ。寿司は大好きなのだが、中に入ればいくらぐらいかかるのか、意地悪く言えばいくら取られるのだろうかという思いが脳裏をめぐり、なんとなく落ち着かない気分になり、スルーすることになる。

しかし、最近では回転寿司屋が至るところにでき、寿司の値段が表示され、しかも安いので人気だ。3,000円もあれば腹一杯になる。家族で行っても1万円で十分釣りが来る。値段が不明朗だったという寿司業界では画期的なことだったのだ。だから宮崎でも至るところに回転寿司屋が増えている。昔に比べ圧倒的に一般庶民的な食べ物になってきているのだ。

さて、先日西銀座通りに変な名前の店の看板を見つけた。そこには『貝汁とちょこっと鮎』と書いてある。店内に入ると、カウンターに4～5人、テーブルに5～6人座れるこじんまりとした店である。とりあえずカウンターに座ってみた。カウンター越しに寿司を握って目の前に出すという昔ながらのスタイルである。おまかせで頼むとトロが出てきた。よく見ると握っ

てある米の色が白とほんのり赤い。なぜ色が違うのか尋ねてみると、赤酢を使っているからだという。宮崎で赤酢の寿司は珍しい。粋である。しかも魚は漬けになっていて、味がすでについているのである。だからテーブルにはお醤油入れが置いていない。口に頬張ると今まで食べたことのない寿司のうまさが口の中に広がる。思わず笑みがこぼれる。

次に貝汁を注文した。なぜならこの店名「貝汁とちょこっと鮎」という看板が気になったからだ。大きな器に出てきた貝汁には見たこともないほど大きなアサリが入っている。しかもこれでもかこれでもかが入っているのだ。さすがに看板にかかげてあるように絶品である。

ふと横のメニューを見ると「日章学園のカレー（600円）」というのを発見した。エッ、カレー？と思い尋ねてみたら、店主が日章学園の卒業生で、後輩の学生が作っているそうだ。お持ち帰りもできるという。貝汁と寿司とカレーというマリアージュに驚きながら店を出た。ちなみに飲み物を入れて5,000円前後だ。



〒880-0003
宮崎市高松町3-2 豊ビル1-B
TEL 090-9724-1380

メディアの目



かば先生へ～子どもへのまなざし、今も

宮崎日日新聞社 報道部長

なか がわ み か
中 川 美 香

先生、今年は暑さが長引き、秋がなかなか訪れませんでした。それでも朝晩の空気がひんやりし、キンモクセイが香り始めたころ、今年も先生の笑顔が頭に浮かびました。2012年10月25日に64歳で急逝され、12年が経ちますね。

同時に思い出すが、絵本やかばの置物が並んだ待合室です。双子の娘が代わりばんこで病気になるたびに何度駆け込んだことでしょう。絵本を読みながら順番を待ち、診察室に入ると先生は子どもに手を差し出しました。手を握り、目を合わせて「あーくーしゅ」。人見知りの強かった幼児期の娘らも、これは先生との“ルーティン”だと分かっていたようです。

診察後、先生はさまざまな話をしてくださいました。予防接種の在り方、虐待予防の取り組み、子どもとメディアの関係…。診察室にしながら、先生の視線は社会に向かっていると感じたものです。「社会の中で子どもは育つんだから、その社会をよりよいものにしたい。健やかな成長を支えたい」。その言葉どおり、医療界、行政、子育て支援団体などあらゆる人々と手をつなぎ、各種事業を前進させていましたね。

訃報に接したのは、弊紙で県小児科医会によるリレー連載が始まる直前でした。会長だった先生から届いていた初回分を、涙をこらえて読みました。題は「自然感じ心豊かに」。子どもたちがゲームなどに費やす時間が長くなり、運動量が減った結果、心身に影響が出ている — と指摘したうえでこう書かれていました。

「子どもたちには遊びが大切です。自然の中をはだして走り回る、どろんこ遊びをする。鳥の鳴き声が急に大きくなったのを聞いて雨がやんだのを感じ、外に飛び出しカタツムリや雨にぬれて鮮やかになった花を見て喜ぶ。暑さに汗をかき、寒さに震える。自然を感じ、考える環境が子どもの体と心の成長には必要不可欠です。幸い、宮崎には豊かな自然がいっぱいありますよ」

圧倒されました。そのまなざしの温かさに。科学や情緒が感じられる、先生ならではのメッセージに。遺稿として掲載させてもらいました。

さて、県立図書館の「かば先生文庫」の近況を報告します。子どもに良書を — という先生の思いをご遺族が引き継ぎ、2012年から続けていらっしゃる本の寄贈。歴史、自然、文学、点字図書など、今や2,100冊を超えました。人気の漫画サバイバルシリーズは常に誰かが借りている状態。大型絵本は読み聞かせ団体に重宝されています。棚にはもちろん、かばの置物も。

文庫の説明文にはこのような紹介があり、ほんわかした気持ちになりました。

〈かば先生の名前は佐藤雄一先生。かばが大好きでかばグッズを集めています〉

〈かば先生は子どもたちと本が大好きでした〉

〈思いは本を通して引き継がれていきます〉

佐藤先生、宮崎の子どもたちは今も、先生のまなざしに守られていますよ。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第39回 来院拒否規則の策定について



Q.

本日、院内の待合室でサンプルとして置いてある商品がなくなっていることが判明し、警察へ連絡しました。待合室の監視カメラに窃盗の瞬間が残っており、ほどなく犯人は確定。警察への自白もあり、物証も確保されたところで賠償で解決いたしましたが、今後犯人が当院へ受診しないよう警察より伝えてもらいました。今後、このような迷惑な方の来院拒否について規則を策定したいのですが、法的に問題はありますか。もちろん人種や国籍を理由に拒否するものではありません。

ご相談のケースでは、まさに医療機関が負う応召義務との兼ね合いに注意を要します。

まず、厚生労働省は医療機関が負う応召義務について、「緊急対応が必要な場合」と「不要な場合」に大別しています。前者の場合には事実上診療が不可能といえる場合にのみ診療しないことが正当化されるとしており、医療機関の診療義務を厳しく考えております。そのため、緊急対応が必要な患者（例えば緊急入院を要する場合や、緊急の処置を行う必要のある患者）に対して、来院拒否の規則を定めることは法的に問題があります。

その一方、「緊急対応が不要な場合」の診察においては、応召義務は比較的緩やかに解釈されており、その中には医療機関との信頼関係も考慮して判断されます。この場合、診療・療養などにおいて生じた、または生じている迷惑行為の態様に照らし、診療の基礎となる信頼関係が喪失している場合には、新たな診療を行わないことが正当化されるとしています。そのため、まず本件のような窃盗事件などの犯罪行為はもちろんのこと、もはや医療機関と患者との間に信頼関係が破綻しており、以後円滑な治療行為を行うことができないと判断された患者に対しては、以後の診察を拒絶することが正当化されます。具体的には、①窃盗などの犯罪行為、②他の患者が嫌がるような行為、③不当な要求やクレーム行為、④職員に対する恫喝や威圧的言動を行う行為、⑤職員や周囲の患者に対するハラスメント行為などのような行為を行う患者に対しては診療を拒絶する旨の規則の制定は効果的であり、法律上問題ないと言えるでしょう。

したがって規則を策定する場合には、緊急対応が不要な患者に向けて医療機関との信頼関係を破壊すると判断される行為を列举し、当該行為を行う患者に対しては以後の診察を拒絶すると明記することに、法律上問題はありません。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～10月～

令和6年9月30日～令和6年11月3日（第40週～第44週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核13例（男性7例・女性6例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症8例：宮崎市（5例），中央（3例）保健所管内から報告があった。患者が4例，無症状病原体保有者が4例，年齢別報告数は30歳代と50歳代が各3例で，20歳代が2例であった。原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられた。

4類：○日本紅斑熱5例：宮崎市，都城（各2例），小林（1例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は80歳代と70歳代が各2例で，40歳代が1例であった。いずれも刺し口があった。主な症状として発熱，頭痛，発疹，肝機能異常等がみられた。

○レジオネラ症5例：宮崎市（3例），都城，高鍋（各1例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は60歳代と70歳代が各2例で，80歳代が1例であった。病型は，いずれも肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，下痢，意識障害，肺炎，多臓器不全等がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：高鍋保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状として大腸粘膜異常所見がみられた。

○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は15～19歳の女性であった。病型はCMVで，主な症状として全身倦怠感，発熱，肝機能異常がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例：宮崎市（4例），延岡（1例）保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と80歳代が各2例で，70歳代が1例であった。主な症状としてショック，肝不全，腎不全，急性呼吸窮迫症候群，DIC，軟部組織炎，中枢神経症状，全身性紅斑性発疹がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市，延岡（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳と80歳代で，主な症状として発熱，咳，全身倦怠感，肺炎，菌血症等がみられた。

○梅毒19例（男性9例・女性10例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，神経症状がみられた。

○播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として発熱，意識障害，項部硬直，胸部異常陰影，真菌血症がみられた。

○百日咳6例：高鍋（4例），宮崎市（2例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は10～14歳が2例，30歳代，40歳代，60歳代，70歳代が各1例であった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込みがみられた。ワクチン接種歴は不明が4例，有りが2例であった。

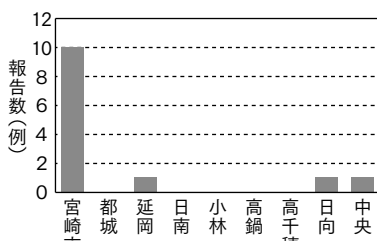


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
肺結核及びその他の結核 (粟粒結核)	1
その他の結核 (結核性胸膜炎，粟粒結核)	2
無症状病原体保有者	6

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	4
40歳代	1
50歳代	3
70歳代	2
80歳代	2
90歳代	1

表3 腸管出血性大腸菌感染症
原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O111 (VT1,VT2)	4
O157 (VT1,VT2)	1
O157 (VT2)	2
O血清群不明 (VT1)	1

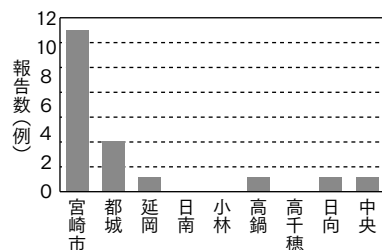


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	4
早期顕症梅毒Ⅱ期	6
晩期顕症梅毒	2
無症状病原体保有者	7

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	3
20歳代	6
30歳代	4
40歳代	3
50歳代	1
60歳代	1
80歳代	1

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
細菌	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	1
	Salmonella Haifa (O4:z10:1,2)	1
	Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	1
	EHEC (O157:H7 VT1,2)	1
ウイルス	Coxsackie virus B2	1
	Human herpes virus 6	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は5,156人（定点あたり145.4）で、前月の167％、例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の160％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、ヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、伝染性紅斑であった。

感染性胃腸炎の報告数は887人（24.6）で前月の約1.4倍、例年の約1.2倍であった。日南（46.3）、宮崎市（31.9）、中央（30.0）保健所からの報告が多く、1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

手足口病の報告数は2,663人（74.0）で前月の約3.2倍、例年の約3.8倍であった。宮崎市（116.6）、延岡（82.0）、中央（79.0）保健所からの報告が多く、1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向（2024年10月）

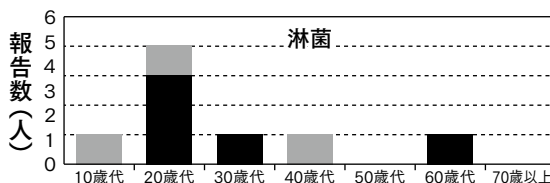
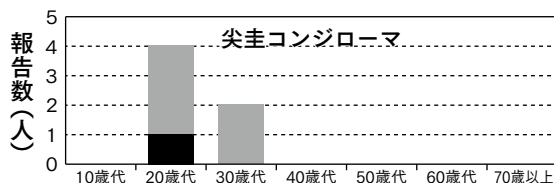
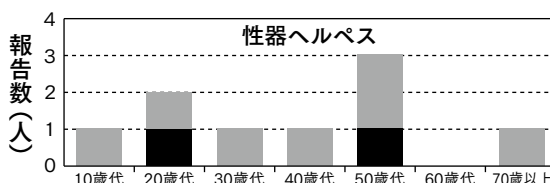
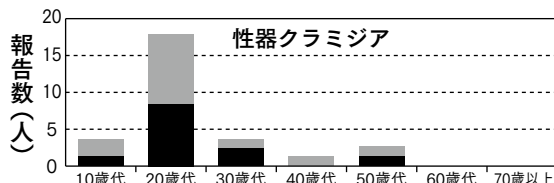
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は51人（3.9）で、前月比93％と減少した。また、昨年10月（3.5）の約1.1倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数27人（2.1）で、前月の約0.8倍、昨年10月の約1.1倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性12人・女性15人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人（0.69）で、前月の約0.8倍、昨年10月の約1.1倍であった。（男性2人・女性7人）
- 尖圭コンジローマ：報告数6人（0.46）で、前月の3倍、昨年10月の2倍であった。（男性1人・女性5人）
- 淋菌感染症：報告数9人（0.69）で、前月の約1.3倍、昨年10月の0.9倍であった。（男性6人・女性3人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人（2.1）で、前月比46％と減少した。また、昨年10月（1.7）の約1.3倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人（2.1）で、前月の0.5倍及び昨年10月の約1.3倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2024年10月		2024年9月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	260	4.5	146	2.5	
新型コロナ※1	377	6.5	618	10.7	
RSウイルス感染症	26	0.7	40	1.1	
咽頭結膜熱	58	1.6	50	1.4	
溶レン菌咽頭炎※2	575	16.0	490	13.6	★
感染性胃腸炎	887	24.6	626	17.4	
水痘	17	0.5	22	0.6	
手足口病	2,663	74.0	836	23.2	★
伝染性紅斑	65	1.8	6	0.2	★
突発性発しん	80	2.2	55	1.5	
ヘルパンギーナ	70	1.9	323	9.0	
流行性耳下腺炎	6	0.2	4	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	27	4.5	15	2.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	45	6.4	23	3.3	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各郡市医師会だより

西白杵郡医師会

会 長 ^{うえ}植 ^{まつ}松 ^{まさ}昌 ^{とし}俊

西白杵郡医師会執行部は3期目を迎えることになりました。その西白杵郡では3つの公立病院が令和6年4月1日に経営統合し、「西白杵医療センター」として新たなスタートを切ることになりました。これまでは3病院の入院機能は急性期などが主で、いずれも救急患者を受け入れてきました。しかし、慢性期や回復期の患者は延岡市や熊本県など郊外の医療機関に入院を依頼する症例があり、課題の一つとなっていました。そこで今回、各病院の入院機能を再編し、高千穂町に手術などが必要な患者を診る急性期とリハビリを支える回復期（120床）、日之影町には長期療養向けの慢性期（50床）、五ヶ瀬町には医療ケアと介護の機能（32床）を集約することになりました。これは人口減少にともない病院経営や人材確保が困難になる中、病院間の役割分担をすることにより効率化を図り、医療提供体制を持続することが目的です。統合後、西白杵郡の3町民は急性期の治療を必要とする場合はまず高千穂町の病院に入院し、その後に日之影町や五ヶ瀬町の病院へ転院することになりました。3病院の経営が移管される西白杵広域行政事務組合の管理者を務める高千穂町の甲斐宗之町長は「中山間地域の医療を長期的に存続させるためのモデルケースとなれるよう、しっかりと連携して取り組んでいく」と話しています。また、「西白杵医療センター」のセンター長には、前県立延岡病院 院長の寺尾公成先生が就任しました。寺尾先生は、「西白杵で一つのチームを目指す」と話すなど、心強い援軍が我々西白杵郡医師会に現れました。

西白杵郡においては、人口減少や医療従事者の不足が顕著になる中で、地域で不可欠な医療機能の生産性の向上を図り機能維持を目指すべく、これからも役員・会員の先生方と知恵を出し合い頑張っていこうと考えております。今後とも西白杵郡医師会に対してお指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



西白杵郡医師会新役員

役 員 等 名 簿（任期 令和 6 年 6 月 1 日定例総会終結後～令和 8 年 5 月31日定例総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	植松 昌俊	精神科	国見ヶ丘病院	会務全般，健康教育， 倫理向上，医療安全
副会長	佐藤元二郎	内科，胃腸科，小児科	佐藤医院	生涯教育，医療保険，介護保険
理 事	古賀 志朗	内科，胃腸科，小児科	古賀医院	情報システム，予防接種
”	塩月 康弘	整形外科	高千穂町国保病院	
”	崔 林承	消化器外科	五ヶ瀬町国保病院	公衆衛生・感染症，勤務医部会
”	押方 慎弥	内科	高千穂町国保病院	会員福祉
”	佐藤 祐二	内科	高千穂町国保病院	
監 事	興梠 知子	小児科	高千穂町国保病院	医師確保対策，医療関係者対策

宮崎大学医学部だより

発達泌尿生殖医学講座 ー小児科学分野ー



もりたけ ひろし
盛武 浩 教授

宮崎大学医学部附属病院小児科は、宮崎県の小児患者へ最善の医療を提供するため、高度で専門的な小児医療の提供と地域医療への貢献を実践するために日々研鑽に励んでいます。現在大学には

28名が在籍し、さらに宮崎市による寄附講座「宮崎小児地域医療学・次世代育成支援講座」が地域医療の充実と小児科医人材育成を目的として大学内に設置され2名が所属しており、合計30名が専門領域を中心に診療・研究・教育を行っています。また宮崎県の地域医療の維持と充実のために、県内の各小児医療施設に医師を派遣して大学病院と連携の取れた医療の提供を目指しています。現在、県立宮崎病院15名、国立病院機構宮崎東病院3名、宮崎市総合発達支援センター2名、県立こども療育センター1名、県立延岡病院2名、済生会日向病院2名、国立病院機構宮崎病院3名、都城医療センター4名、都城医師会病院3名、県立日南病院2名を派遣しており、これらの施設とは大学病院の垣根なく綿密な連携を取りながら県内全域の一次医療から三次医療まで診療を行っています。

診療グループとしては、一般小児科はもとより、教授の専門領域である血液・腫瘍を筆頭に、腎・泌尿器、神経・発達、循環器、代謝・内分泌、免疫・アレルギー、新生児の7つの専門領域で診療・研究・教育を行っています。小児のほぼすべての領域が大学内にあり、各診療グループ間の横のつながりの強さを生かして診

療が行えることは地方大学病院の特徴かもしれません。

研究に関しては、血液・腫瘍グループが腫瘍の発症や転移の機構についての分子生物学的解析、がん代謝の解析など精力的に研究を行っている他、その他各診療グループは独自の研究課題を持って研究に励んでいます。大学院生は2名で、一人は機能制御学講座循環動態生理学分野の渡邊望教授にお世話になりながら循環器の研究を行っています。

教育については、日頃の講義やクリニカルクラークシップなどの医学生教育に加えて、小児科の黒木純と明利聡瑠が医療人育成支援センターの助教として医学部生から研修医まで、特に宮崎県出身者である地域枠や地域特別枠の学生指導や進路指導などを行い、木許恭宏が卒後臨床研修センターの助教として研修医の指導を行っています。小児科の枠を超えて医学生および研修医指導を行ってくれていますが、直近3年間の小児科入局者は2022年3名、2023年3名、2024年4名と着実に入局しており、教育を通じて小児科医の魅力を伝えることもできているのではないかと考えています。

最後に、医師の働き方改革について小児科の対応をお話しします。時間外労働の上限が決められている他、「宿日直許可」のない当直明けは9時間インターバル確保のために午後には仕事を切り上げる必要があります。医師の体調管理や良質な医療の提供には必要な対応ですが、地域医療の維持や個人の自己研鑽の時間の確保など課題も見えてきました。「働き方改革」と「地域医療の維持」および「個人としての医師の成長」をすべて満たすためには、十分な医師の確保が課題と考えています。

今後も大学病院小児科として役割を自覚し、宮崎県の小児医療に貢献できるよう努力いたしますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(医局長 此元 隆雄)

部会だより

産 業 医 部 会



かわの まさゆき
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会産業医部会は、産業医活動を促進し産業医学の研究と職場における労働者の安全・健康増進を図ることを目的に昭和51年4月に設立

され、令和6年で48年目を迎えました。会員数は374名（10月末現在）。役員は河野部会長（県医師会長）をはじめ、各郡市医師会などから選出された理事を中心に構成しています。主な活動としては産業医研修会の他、年1回開催する理事会や総会、また県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会を年1回開催し、医師会、労働局、産業保健総合支援センター、各事業者団体とで産業保健活動についての意見交換を行っています。

労働災害は長期的には減少しておりますが、近年就業人口の高齢化による高齢労働者の労働災害や転倒、腰痛といった労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加しており、約3人に1人がなんらかの病気を抱えながら働いている状況にあります。労働者の心身の健康状態は、仕事で強い不安やストレスを感じる労働者の割合は約5割とまだまだ事業場におけるメンタルヘルス対策は低調な状況です。さらに4月からは医師の働き方改革もスタートし、時間外・

休日労働が月100時間以上となることが見込まれる医師に対して面接指導を実施することが医療機関の管理者に義務付けられました。ますます産業医におけるメンタルヘルス対策の役割は重要になっていきます。また、労働安全衛生法における新たな化学物質規制も施行されていることから、我々産業医は常に知識をアップデートすることが求められています。

このようなことから、本部会では産業医の養成および資質向上に力を入れているところであります。研修会の内容は日医認定産業医制度関係小委員会で検討し、令和5年度は各郡市医師会や産業保健総合支援センターにご協力をいただきながら、未認定医対象の基礎研修会を10回（20単位）、認定医対象の生涯研修会を49回（98単位）実施しました。このうち3回はテレビ会議システムを利用することで、先生方のご都合のよい会場で受講いただけたことと存じます。本年度以降も各郡市医師会や産業保健総合支援センターのご協力をいただきながら、できるだけ多くの受講機会を提供していきたいと考えておりますので、ぜひご出席ください。

当部会に入会をご希望の先生へは入会申込書をお送りしますので、宮崎県医師会事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

（常任理事 池井 義彦）

九州医師会連合会第418回常任委員会

と き 令和6年10月5日(土)

ところ ホテル日航熊本

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶（熊本県福田会長）

3 報 告

1）日本医師会「診療所における新興感染症対策研修検討委員会（プロジェクト）」委員のブロック推薦について（熊本）

沖縄県から参与の高山義浩先生を推薦した旨の報告が行われた。

2）第124回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加申込状況について（熊本）

11月17日(日)に開催される内科・小児科・産婦人科・東洋・整形外科の5学会及びゴルフ・ラグビー・サッカー・卓球・剣道・囲碁の6記念行事の申込み状況（9月27日現在）が報告された。

4 協 議

1）第419回常任委員会並びに第128回臨時委員総会（11月15日(金)熊本市）の開催について（熊本）

第124回九州医師会総会・医学会の前日に開催される会議で、来賓や協議内容を含む日程などの説明が行われ、原案どおり承認された。

2）九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会（11月16日(土)熊本市）における日本医師会への質問・要望事項等について（熊本）

日医松本会長にお願いする中央情勢報告

で、九州各県に照会の結果、「①医療DXの推進に対する導入費用の全額補助並びに、医療介護従事者不足を補うためのICT導入費用に対する予算確保について（鹿児島県）」、「②医師会立看護学校存続のための新しいシステム作りについて（佐賀県）」、「③保険医療機関が交付するアレルギー疾患に係る学校生活管理指導表の保険適用について（文部科学省事務連絡）（沖縄県）」、「④「紙カルテを使い続けても恩恵を受けることができる医療DX」の具体的な方策について（長崎県）」の4題を提出することが承認された。

3）第124回九州医師会連合会総会における宣言・決議（案）について（熊本）

事前に照会を行い、九州各県の意見を反映した宣言・決議（案）の説明が行われ、原案どおり承認された。

4）第9回九州ブロック災害医療研修会並びに九州各県医師会救急・災害医療担当理事連絡協議会（令和7年1月18日(土)・19日(日)）開催について（熊本）

講演会形式で災害医療研修会を行い、担当理事連絡協議会はグループワークを中心とした研修を行う旨の説明が行われ、原案どおり承認された。

5) 第420回常任委員会並びに第2回各種協議会（令和7年2月1日(土)熊本市）の開催について（熊本）

会場および開始時刻などが原案どおり承認され、近く協議種目などが九州各県に照会されることとなった。

6) 能登豪雨災害におけるお見舞いについて（熊本）

九州各県が5万円ずつ負担し、九医連として50万円を石川県医師会に送ることが承認された。

5 その他

1) 看護職の不足問題について（沖縄）

九州各県が窮状を報告するとともに、現状打開のための方策について意見交換が行われた。

2) 日本医師会への「新型コロナウイルス感染症予防接種に係る医療従事者等への接種費用の助成に関する要望書」提出について（鹿児島）

九州各県異論はなく、九医連としても要望書を提出することが承認された。

3) 第24回核戦争防止国際医師会議（IPPNW）世界大会 in NAGASAKIについて（長崎）

長崎県森崎会長から、令和7年10月2日から3日間、長崎市で開催される世界大会の報告が行われ、核戦争防止国際医師会議（IPPNW）への加入依頼が行われた。

6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

お知らせ

年末・年始の休館について

県医師会館（医師会、医師国保、医師協同組合、病院企業年金基金）は年末・年始休業のため、下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

期 間 令和6年12月29日(日)～令和7年1月3日(金)

緊急連絡先 総務課長 090-1512-9002

事務局長 090-9572-1385

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 令和6年11月3日(日)
ところ ハイビスカスゴルフクラブ

毎年恒例の親善ゴルフ大会は、爽やかな秋晴れの下、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、13名の先生方が熱戦を繰り広げました。競技方法は、18ホールズストロークプレイ、ダブルペリア方式（同ネットの場合は年長者を上位）で、今大会も来年5月に岐阜で開催される「第7回全国医師ゴルフ選手権大会（チャンピオン戦）」の出場権を掛けた戦いとなりました。

団体戦は都城チームが優勝、個人戦は年齢別にA・B・Cの3組に分けて行い、A：田村正三先生（児湯）、B：棚田敏文先生（宮崎）、C：公文崇詞先生（延岡）がそれぞれ優勝され、総合優勝は棚田敏文先生となりました。また、「第7回全国医師ゴルフ選手権大会」には大崎泰先生（延岡）と渡邊裕之先生（日向）が出場される予定です。

成績は以下のとおりです。

【団体戦】 (敬称略)

	郡 市 名	NET合計	各 郡 市 NET 上 位 3 名					
優 勝	都 城	230.0	瀬之口洋史	75.4	田口 利文	76.2	久保田秀紀	78.4
準優勝	宮 崎	239.2	棚田 敏文	70.0	谷村 俊次	84.6	小緑 英行	84.6

【個人戦】 ※団体戦は県医師会役員を除いて計算しております

		氏 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET	備 考
A	優 勝	田 村 正 三	49	48	97	20.4	76.6	
	準優勝	小 牧 斎	64	47	111	28.8	82.2	
	3 位	谷 村 俊 次	56	55	111	26.4	84.6	
B	優 勝	棚 田 敏 文	35	35	70	0.0	70.0	総合優勝
	準優勝	大 崎 泰	40	43	83	7.2	75.8	
	3 位	田 口 利 文	42	45	87	10.8	76.2	
C	優 勝	公 文 崇 詞	43	40	83	10.8	72.2	
	準優勝	渡 邊 裕 之	46	42	88	13.2	74.8	
	3 位	星 野 誠一郎	47	44	91	15.6	75.4	
B G賞		棚 田 敏 文	70					
N P賞		大崎泰, 久保田秀紀, 公文崇詞, 瀬之口洋史, 田口利文, 棚田敏文（2）						

※ NP賞は五十音順



団体戦優勝

都城チーム



写真は左から順に、
田口利文先生、瀬ノ口洋史先生、久保田秀紀先生

今年は、例年よりも参加する先生が少なく、若干淋しい大会となりました。

毎年、メンバー同士が足の引っ張り合いをして自滅するのが都城チームですが、今年はスタート5ホール目まで田口会長が1アンダーでラウンドするという暴挙に出たため、何か起こるのでは!?と。それが優勝とは。その田口会長もラウンド終了時には普段のスコアに戻っております。11月の例会では、優勝報告と盛大な祝勝パーティーおよび牟田町パレードをと考えましたが、医師会病院増築のため1円も無駄にはできず断念しました。来年は都城のエースである江夏剛先生、長倉穂積先生、そして飯田正幸先生を送り込み、2連覇目指します。

最後に、大会開催に携わっていただいたすべての方、特に事務局の皆さんには毎年の気配り・心配りに感謝しかありません。ありがとうございました。

(都城市北諸県郡医師会 瀬ノ口洋史)

総合優勝

宮崎市郡医師会 棚田 敏文 先生



宮崎市郡医師会 棚田敏文先生

今年も晴天（風が強かったけど）の親善ゴルフ大会になりました。きっと、参加者の日頃の行いがよかったのだと思います。同伴して下さった大崎先生、公文先生、お世話になりました。当日は、パッティングが絶好調でした。年に数回しかないくらいパッティングラインが見えました（キャディーさんに褒められました）。35・35の70のスコアは大満足です。ベスグロ、ニヤピン賞などたくさんのお土産をありがとうございました。来年も参加しようと思っています。

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	a	e	b, c	b	c, d, e	e	a	b	a

日医インターネットニュースから

■5つの医療機関機能を提示 —「新たな地域医療構想等」検討会—

厚生労働省は11月8日、「新たな地域医療構想等に関する検討会」（座長＝遠藤久夫・学習院大学長）に、創設する医療機関機能として「高齢者救急等機能」など5つを改めて示した。構成員から大きな異論は出なかった。

医療機関機能は、医療機関ごとの役割を明示するもの。医療機関が都道府県に報告する。厚労省はこれまでの議論を整理し、地域ごとの医療機関機能として「高齢者救急等機能」「在宅医療連携機能」「急性期拠点機能」「専門等機能」を提示。加えて、広域な観点の医療機関機能として「育及び広域診療機能」を示した。

高齢者救急等機能と在宅医療連携機能は、地域の実情に応じた幅を持った報告の在り方を設ける。急性期拠点機能は、地域の実情も踏まえた一定の水準を満たす役割を設定。アクセスや構想区域の規模も踏まえ、構想区域ごとに確保する病院数を定める。

猪口雄二構成員（全日本病院協会会長）は、「高齢者救急等機能という名称は、高齢者の専門病院と国民に誤解される」と述べ、国民に分かりやすい名称を求めた。

●外来・在宅医療・介護連携の在り方整理

8日の検討会で厚労省は、外来・在宅医療・介護との連携についても、改めてこれまでの議論の整理を提示した。こちらも大きな異論はなかった。

新たな地域医療構想では、入院医療だけではなく、外来・在宅医療・介護との連携も対象とする。具体的には、議題に応じて区域や参加者を設定し、関係者間で協議を行う。かかりつけ医機能報告や外来機能報告などを基に、医師数や診療領域ごとの医療体制といった地域の課題を共有する。課題への対応を協議した上で、必要な外来・在宅医療を提供するための取り組みを実施。取り組みの方向性として厚労省は、在

宅医療研修やリカレント教育の推進などを例示している。

厚労省は在宅医療について、従来の構想区域より狭い区域を設定することも示した。今村知明構成員（奈良県立医科大教授）は、郡市区医師会が介護認定を行っていることから、「在宅医療の区域は、郡市区医師会単位とすることが一番良い」と提案した。

（令和6年11月12日）

■「マイナ」移行後の資格確認方法で答申 — 中医協 —

中医協（会長＝小塩隆士・一橋大経済研究所特任教授）は11月13日、マイナ保険証の利用が基本となる12月2日以降の資格確認方法について、関連する療養担当規則などの見直しを福岡資麿厚生労働相に答申した。厚生労働省は近く、省令改正などを行う。

この日、福岡厚労相から諮問を受けて、見直しに向けた議論をした。

保険医療機関などでは、患者にマイナンバーカードをカードリーダーにかざすよう案内し、カードを持っていない場合は原則として資格確認書による確認が行われることになる。こうした流れを踏まえ、療担規則で資格確認の方法を「被保険者証」から「資格確認書」「厚生労働大臣が定めるもの」に改める。

「厚生労働大臣が定めるもの」には、カードリーダーにカードをかざしても資格確認が行えなかった際に、窓口でスマートフォンの画面を提示することで確認する方法などが該当。大臣告示で規定される。

答申書案の承認に際し、診療側・支払い側の代表者がそれぞれ意見を述べた。

支払い側の松本真人委員（健保連理事）は「マイナ保険証は医療DXを推進し、効率的で効果的な医療を実現する重要なツール。国民がメリットを実感できるように関係者が一丸で利

用を推進する必要がある。保険者としても加入者への周知に取り組むので、政府は国民への積極的な広報、医療関係者は患者への働きかけについてお願いしたい」と求めた。

診療側の長島公之委員（日医常任理事）は「診療側としても国、保険者と一致協力して国民に安心と幸福が届けられるように取り組んでいきたい」と述べた。

小塩会長は、中医協のメンバーの一人と前置きした上で、「DX推進は重要で、官民一体で進めることは大事なことだが、中医協の大事な仕事は保険医療を堅持すること。保険医療のメリットを享受できない国民が一人もいないようにするのが私たちの使命。新制度で混乱が起きてメリットを受けられない人がいれば、ただちに制度を改めることも必要だと個人的には思っている」と述べた。

（令和6年11月15日）

■経済対策を閣議決定、医療機関へ支援も — 政 府 —

政府は11月22日の臨時閣議で新たな総合経済対策を決定した。経営状況の急激な変化や物価高騰などの影響を受けている医療機関への支援策を盛り込んだ。医療機関の連携や再編、集約化を進める観点も踏まえ、早急に病床削減に取り組む医療機関を支援する。赤澤亮正経済再生担当相は会見で、経済対策の裏付けとなる2024年度補正予算案を28日から始まる臨時国会に提出し、早期成立を目指す方針を示した。

対策の名称は「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策～全ての世代の現在・将来の賃金・所得を増やす～」。対策の柱は、▽日本経済・地方経済の成長▽物価高の克

服▽国民の安心・安全の確保 — の3項目。経済対策の事業規模は計39兆円程度で、24年度補正予算案の一般会計からの支出は13.9兆円程度となる。

物価高騰などの影響で、地域医療構想の推進や、救急・周産期医療の提供体制確保に向けた施設整備が難しくなっている医療機関に対しても支援策を講じる。

周産期・小児の医療提供体制確保に向けた対策も進める。分娩を取り扱う施設が少ない地域の産科施設を支援し、妊娠・出産環境の確保、女性の健康相談支援の体制構築に取り組む。地域の小児医療の拠点となる医療機関については、少子化などによる急激な患者数の減少を踏まえた支援を実施する。

●さらなる賃上げも支援

賃上げについては、「ベースアップ評価料」などの処遇改善措置を行き渡らせるとともに、すでに賃上げに取り組んでいる医療機関をさらに支援する対策も検討する。賃上げ余力を生み出す生産性向上と職場環境改善を後押しし、人件費にも充当できる仕組みとする見通しだ。

医療・介護・保育施設などの物価高騰支援に充てることができる「重点支援地方交付金」も追加で措置する。医療・介護のDX推進や、認知症対策なども盛り込んだ。

●25年度薬価改定の記載を本文に

自民、公明、国民民主の3党協議を踏まえ、25年度薬価改定に関する記載を本文に盛り込んだ。「骨太の方針2024」の記載を引き、これを踏まえて対応するとした。このほか、国民民主が求めるいわゆる「103万円の壁」の見直しや「ガソリン減税」などに関する記載も加えた。

（令和6年11月26日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

■マイナ保険証について

マイナ保険証…健康保険証（以下、保険証）の利用登録がなされたマイナナンバーカード

保険医療機関などの窓口での健康保険の被保険者資格確認は、令和6年12月2日からマイナ保険証の利用を基本とする仕組みに移行しました。マイナ保険証をお持ちでない方には、従来の保険証に代わり「資格確認書」を交付します。また、マイナ保険証をお持ちの方には、「資格情報のお知らせ（被保険者資格情報を簡易に記載したもの）」を交付します。

ただし、ご加入中の方で令和7年12月1日まで有効な保険証（桃色）をお持ちの方には、保険証が有効期限を迎える前（令和7年11月ごろ）に、マイナ保険証の保有状況に応じて「資格確認書」または「資格情報のお知らせ」を交付します。桃色の保険証は有効期限まで使用できますので、誤って破棄しないようご注意ください（期間中75歳になる方は、誕生日の前日までが有効期限）。有効な保険証を紛失された場合は、組合までご連絡ください。

マイナ保険証を利用すれば、医療情報の共有化でより適切な医療が受けられます。また、事前の手続きなく高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されますので、ぜひご利用ください。

保険医療機関などの受診方法

1) マイナ保険証を持っている方

「マイナ保険証」または「保険証（有効期限内のもの）」で受診できます。

マイナ保険証の読み取りができない場合などは、スマートフォンなどでマイナポータルにアクセスして資格情報画面をマイナ保険証とともに提示することで受診できます。また、マイナ保険証とともに「資格情報のお知らせ」を提示することでも受診できます。

「資格情報のお知らせ」のみの提示や、マイナポータルの資格情報画面を提示するだけでは受診できませんので、ご注意ください。

2) マイナ保険証を持っていない方

「資格確認書」または「保険証（有効期限内のもの）」で受診できます。

紛失などによる手続き書類

1) 「資格確認書」を紛失した場合

① 資格確認書 再交付申請書・紛失届

② 組合員の顔写真付身分証明書の写し（運転免許証など）

※資格確認書の交付を受けている方でマイナ保険証をお持ちの方は、申請は不要です。紛失した旨を組合までご連絡ください。

2) 保険証の利用登録がなされたマイナナンバーカードを紛失した場合や更新中の場合、

マイナ保険証での受診が困難な場合（介助者などの第三者が要配慮者に同行して資格確認を補助する必要があるなど）

① 資格確認書 交付申請書

② 組合員の顔写真付身分証明書の写し（運転免許証など）

※保険証の利用登録の有無にかかわらず、マイナナンバーカードを紛失した場合は、お住まいの市町村窓口にご連絡をお願いします。

住所・氏名変更の手続き書類

① 住所変更届・氏名変更届

② 住民票の写し（住所変更の場合は世帯全員分、氏名変更の場合は該当者分）

③ 組合員の顔写真付身分証明書の写し（運転免許証など）

④ 資格確認書または有効期限内の保険証（お持ちの方のみ。交付を受けていて紛失された場合は、「資格確認書 再交付申請書・紛失届」も必要となります）

マイナンバーカードの保険証利用の方法

保険証の利用登録がお済みでない方は、次のステップで申請してください（マイナンバーカードをお持ちの方は【STEP2】から）。詳しくは、厚生労働省のホームページ「マイナンバーカードの健康保険証利用方法」をご参照ください。

【STEP1】 マイナンバーカードを申請・作成する

【STEP2】 マイナンバーカードの保険証利用を申請・登録する

※利用登録は、保険医療機関などの顔認証付きカードリーダー、マイナポータル、セブン銀行ATMから申請できます。

【STEP3】 保険医療機関などで、マイナンバーカードで受診する

■保健事業について**健康診断（特定健診含む）****1）健診機関や自家健診で実施**

対象者には「健康診断個人票（緑色）」をお送りしています。各自でご予約のうえ受診してください。自院で実施しても当組合へ費用を請求することができます。必須検査項目（★印の項目）は必ず実施してください。また、組合員が自らに対して健診を行った場合（自己健診）も請求できますが、特定健診の対象とはなりません。

2）日曜日健診を利用（宮崎市郡医師会病院健診センターにて実施）

予約は当組合へ（☎0985-22-6588） Web申込もできます！⇒

令和7年1月19日、2月16日、3月2日、3月16日

**特定保健指導**

対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りします。利用券が届いた方は、ご案内に記載している実施機関にて保健指導を受けてください。

その他の保健事業

以下の保健事業を実施しております。詳細は、組合Web「保健事業」のページをご確認ください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ● 胃・大腸内視鏡検査補助 | ● 脳ドックなど補助 |
| ● 低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料） | ● 乳がん検診（マンモグラフィ検査）補助 |
| ● 肺炎球菌ワクチン接種補助 | ● インフルエンザ予防接種補助 |
| ● 歯科健康診査（無料） | ● 高齢組合員に対する傷病見舞金（入院のみ）など |

ご不明な点などがございましたらお問い合わせください。

宮崎県医師国民健康保険組合
(宮崎市和知川原1丁目101)

メール kokuho@miyazaki.med.or.jp
TEL 0985-22-6588 FAX 0985-27-6550



【本組合Web】

11月のベストセラー（宮崎県）

集計：2024年11月1日～11月22日

1	架空犯	東 野 圭 吾	幻 冬 舎
2	気の毒ばたらき きたきた捕物帖(三)	宮 部 み ゆ き	P H P 研 究 所
3	苦しかったときの話をしようか	森 岡 毅	ダイヤモンド社
4	もう別れてもいいですか	垣 谷 美 雨	中 公 文 庫
5	70歳からのスマホの使いこなし術	増 田 由 紀	ア ス コ ム
6	人生は「気分」が10割	キ ム ・ ダ ス ル	ダイヤモンド社
7	死神と天使の円舞曲	知 念 実 希 人	光 文 社 文 庫
8	日ソ戦争－帝国日本最後の戦い	麻 田 雅 文	中 公 新 書
9	ごはんが楽しみ	井 田 千 秋	文 藝 春 秋
10	団地のふたり	藤 野 千 夜	双 葉 文 庫

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方） ☎ (0985) 56-0868

お知らせ

【宮崎県】 心不全療養指導士・心臓リハビリテーション指導士 資格取得助成について

宮崎県では、心不全ケアに関する支援体制を強化し、県民の心不全による再発・再入院・重症化予防、生活の質（QOL）の改善を図ることを目的に、心不全療養指導士・心臓リハビリテーション指導士の養成のための経費を負担する医療機関などに対し、経費の一部補助を開始しました。

1 経緯

令和4（2022）年の人口動態統計によると、本県の死因順位別では、心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第4位となっており、両者を合わせると、令和4（2022）年に年間3千人以上の県民が亡くなっています。

このように、循環器病は県民の生命や健康に重大な影響を及ぼすとともに、社会全体に大きな影響を与えることから、国は、健康寿命の延伸などを図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法を施行し、「循環器病対策の総合的かつ計画的な推進を図るため、循環器病対策の推進に関する基本的な計画」（以下、「国の基本計画」という）を策定しました。宮崎県では、国の基本計画に基づき、「第2期宮崎県循環器病対策推進計画」を策定し、さまざまな循環器病対策を推進しています。

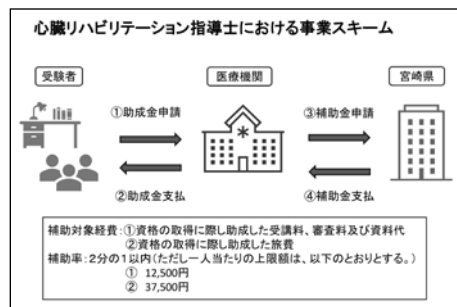
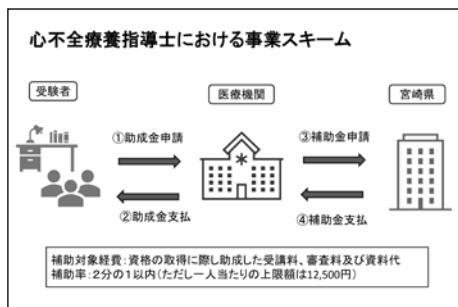
県医師会にも委員として参加をいただいている宮崎県循環器病対策推進協議会にて、急性期から回復期・維持期までの切れ目ない医療提供体制の充実を図ることが必要であるとの課題検討を行い、このたび、循環器病人材育成事業を立ち上げることとなりました。

2 補助金交付対象（詳しい内容は、県ホームページに掲載している要綱をご確認ください）

- 心不全療養指導士または心臓リハビリテーション指導士の認定試験に受験して合格し、資格取得した被雇用者に対して必要経費の助成を行う県内の医療機関などであること。

※令和6年9月30日以降の試験実施分より補助金交付対象となります

3 スキーム図



※ 県庁ホームページに掲載

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kenkozoshin/kurashi/hoken/20240819110021.html>



県庁ホームページ

○ 問い合わせ先

宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当 TEL 0985-26-7079 FAX 0985-26-7336

**令和6年10月1日(火) 第7回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 令和6年9月能登半島豪雨への医療支援について**

9月21日に発生した記録的な大雨による能登半島での災害に対して行う日医からの支援金案内であり、郡市医師会と会員へFAX等で周知することが承認された。

2. 12/2(月)医療機関向けセキュリティインシデント対応ワークショップの開催について

県警本部からの依頼により、医療機関におけるセキュリティインシデント対応を学ぶためのワークショップを開催することが承認された。

3. 令和6年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著な方に対する表彰で、4名を推薦することが承認された。

4. 11/19(火) (日医) 令和6年度第2回都道府県医師会長会議の開催について

河野会長が出席することが承認された。また、今回のテーマである「医師少数地域における医師確保」に関し、意見や質問が

あれば事務局に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

5. 11/26(火) (県医) 各郡市医師会長協議会の開催について

開催することが承認された。議題については、11/19(火)に日医で開催される都道府県医師会長会議の報告等の他、各郡市医師会にも照会する。また、役員から議題があれば事務局に提出することとなった。

6. 12/13(金)都道府県医師会公益法人制度改革担当理事連絡協議会の開催について

来年4月からの公益法人制度改革に係る情報提供を目的に開催される協議会で、市来常任理事が出席することが承認された。また、宮崎大学医学部医師会以外の郡市医師会にも案内することとなった。

7. 10/24(木) (県防災庁舎) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

3医療機関を対象に行われる新規個別指導で、高木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

8. 12/7(土) (県立宮崎病院) 令和6年度HIV・エイズ対策講習会について

地域の医療機関の医師、医療従事者等を対象に開催される講習会で、エイズ治療中核拠点病院である県立宮崎病院及び宮崎県と共催をすること、医療機関への案内等に協力することが承認された。

9. 本会外の役員等の推薦について**①宮崎大学医学部附属病院専門研修プログラム連絡協議会委員の推薦について**

→宮崎大学医学部附属病院で行われる専門研修プログラムを円滑に実施するための協議会委員の任期満了に伴う委嘱依頼があり、大塚常任理事を推薦することが承認された。

②性と生殖に関する検討会委員の推薦及び
就任について

→人工妊娠中絶の背景の調査、分析、検討を行い、望ましい妊娠・出産に有効な施策を推進するための新たに設置された協議会で、県医師会卒には嶋本常任理事を推薦することが承認された。
なお、県産婦人科医会卒については、医会に推薦を依頼することとなった。

10. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について、医療安全対策委員会に市来常任理事、未来医師会ビジョン委員会に大塚常任理事が就任することが承認された。

11. 後援・共催名義等使用許可について

①10/6(日) (県総合保健センター) SBIRTS (エスパーツ) 普及推進セミナーの後援依頼について
→問題飲酒者に対してスクリーニングテストを実施し、依存症の疑いがあれば、専門医療機関や自助グループに紹介するSBIRTSの普及推進のための研修会で、名義後援を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 9月末日現在の会員数について
3. 9/25(水) (県医5階) 広報委員会について
4. 9/30(月) (県医5階) 健康教育委員会について
5. 9/26(木) (県医5階) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会について
6. 9/26(木) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 衆議院小選挙区候補者の推薦申請について
各郡市医師連盟の意向を確認し、10月15日(火)に常任執行委員会を開催し、推薦者を検討することとなった。

(報告事項)

1. 第50回衆議院総選挙 都道府県医師連盟への交付金について

令和6年10月15日(火) 第13回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎県赤十字血液センター献血協力者への協賛品について
協賛品を購入することが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について
 - ①宮崎県地域医療構想調整会議委員の確認及び変更について
→地域医療構想について県全体の課題等を協議するために設置される協議会の委員の確認依頼があり、現委員である河野会長と、新たに吉見常任理事と玉置常任理事が就任することが承認された。
 - ②県ナースセンター事業運営委員会委員の推薦について
→県ナースセンター事業の円滑かつ効果的な実施を目的に設置される委員会の任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き池井常任理事と赤須常任理事を推薦することが承認された。
 - ③宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の委嘱について
→人を対象とした医学研究の倫理審査を行う委員の委嘱依頼で、引き続き上山理事を推薦することが承認された。

④宮崎大学医学部認定再生医療等委員会委員の委嘱について

→診療や研究において再生医療を提供する際に審査を行う委員の委嘱依頼で、引き続き上山理事を推薦することが承認された。

3. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について、有床診療所委員会に河野会長が、地域医療対策委員会に金丸副会長が、医師会共同利用施設検討委員会に赤須常任理事が、救急災害医療対策委員会に落合常任理事が、予防接種・感染症危機管理対策委員会と公衆衛生委員会に峰松理事が就任することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①11/9(土) (アートホテル) 県民公開講座 2024の名義後援依頼について

→県民に向け、適正な睡眠の重要性と、認知症と自動車運転についての啓発を目的とした公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②11/17(日) (宮崎市民文化ホール) 「宮崎市メディアリテラシー育成事業・子どもとメディアみやざき講演会」の名義後援について

→「子どもを電子メディアから守るために～インターネット依存の現状と治療～」をテーマに開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

③R7.6/21(土)・22(日) (シーガイア) 九州作業療法学会2025in宮崎の後援名義の使用許可について

→作業療法の質的向上と普及を目的に開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 11/15(金)・16(土) (熊本) 九州医師会連合会第419回常任委員会、第128回臨時委員総会並びに九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会の開催について

常任委員会の提案事項については、議題があれば事務局を経由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。各会議の出席者については事務局で取りまとめて提出することが説明された。

6. R7.2/1(土) (熊本) 九州医師会連合会令和6年度第2回各種協議会の開催種目について

協議したい内容があれば事務局を経由して会長に提案し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。提案がなければ例年通り、地域医療対策協議会、医療保険対策協議会、介護保険対策協議会を希望種目として提出することが承認された。

7. 「日医かかりつけ医機能研修制度」修了時の取扱い及び終了申請の受付に関するご協力をお願いについて

日医からの通知に則り、本県でも修了した医師を県医師会ホームページで公表することが承認された。また、認定を受けている医師が更新をする際に、早めに現在の単位取得状況を通知してほしいとの提案があり、事務局で検討することとなった。

8. 12/7(土) (日医) 令和6年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

「新たな局面を迎えて母体保護法指定医師として考えること」をテーマに開催される講習会で、嶋本常任理事と上山理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10/5(土) (熊本) 九医連常任委員会について

3. 10/8(火) (アートホテル) 宮崎大学と県医師会との懇談会について

4. 10/9(水) (県防災庁舎) 県感染症対策連携協議会について
5. 10/10(木) (東京) 医療政策研修会について
6. 10/4(金) 県保健医療福祉調整本部図上訓練Ⅱ 事前説明会について
7. 10/12(土) (県防災庁舎) 県保健医療福祉調整本部図上訓練Ⅱについて
8. 10/2(水) 日医学校保健委員会について
9. 10/2(水) (シーガイア) 全国学校保健学校医大会実行委員会・試食会について
10. 10/4(金) (県医) 全国学校保健・学校医大会シンポジウム打合せ会について
11. 10/5(土) (熊本) 九医連各種協議会について
12. 10/13(日) (県医) 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について
13. 10/15(火) (県医) 県・市町村との妊婦健診等に関する協議会について
14. 10/3(木) (県医) 健康スポーツ医学委員会について
15. 10/11(金) (県医) 在宅医療研修会企画小委員会について
16. 10/10(木) (県医) 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会について
17. 9/26(木) (県医) 県有床診療所協議会総会・講演会について
18. 9/28(土) (宮観ホテル) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議について
19. 10/5(土) (熊本) 九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会について
20. 9/25(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について
21. 10/4(金) (県医) 労災部会自賠委員会について
22. 10/4(金) (県医) 損害保険医療協議会について
23. 10/11(金) 都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会について

医師連盟関係 (議決事項)

1. 10/25(金) (東京) 敬人会勉強会のご案内について
→ 転換期にある厚生労働行政の演題で行われる勉強会で、協力することが承認された。
- #### (報告事項)
1. 10/12(土) (JA-AZM) 総務・支部長合同会議について
 2. 10/15(火) 日医連拡大選挙対策会議について

令和6年10月29日(火) 第14回全理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
 - ① 宮崎県地方独立行政法人評価委員会委員の推薦について
→ 公立大学法人の業務実績に対して客観的な評価等を行う委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き小牧副会長を推薦することが承認された。
 - ② 宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について
→ 事業主や産業保健関係者に対し研修や相談対応等を行う産業保健総合支援センターの運営主幹の任期満了に伴う推薦依頼があり、産業保健主担当の池井常任理事を推薦することが承認された。
2. 業務委託について
 - ① 令和6年度県主治医研修業務の業務委託について
→ 要介護認定等の重要な審査資料である主治医意見書の適切な記載方法等の研修を行う事業で、契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①11/24(日) (県総合保健センター) アルコール依存症健康障害対策一般公開セミナーの後援について

→アルコール健康障害対策に対する理解を深めるために開催される市民公開セミナーで、名義後援を行うことが承認された。

4. 11/12(火) (県医) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会について

当日の進行方法や役割分担が確認された。また、県への要望書(案)を各担当役員で再確認し修正等ある場合は事務局を通して会長に申し出ることとなった。

5. 11/21(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、玉置常任理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について

8月20日の全理事協議会で選任基準の定めにより選任を行うことが承認され、県医師会及び郡市医師会並びに各専門分科医会で人選した結果、保険医代表15名、保険者代表15名を推薦することが承認された。

7. 宮崎県医師会母体保護法不服審査委員会の委員について

母体保護法不服審査委員会の委員1名選任の提案があり、承認された。

8. R7.1/18(土)・19(日) (熊本)九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会並びに第9回九州ブロック災害医療研修会の開催について

九州医師会連合会担当の熊本県医師会主催で開催される協議会と研修会であり、役

員と事務局で参加することが承認された。参加者については担当役員を中心に調整することとなった。

9. 11・12月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10/16(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について

3. 10/21(月) (県防災庁舎) 県障害者施策推進協議会について

4. 10/21(月) (県防災庁舎) 県障がい者差別解消支援協議会に係る勉強会について

5. 10/27(日) (福岡) 福岡県医師会勤務医交流会について

6. 10/28(月) (ニューウェルシティ宮崎) みやざき愛の献血運動推進県民大会について

7. 10/16(水)・23(水) (県医) 広報委員会について

8. 10/17(木) (日医) 日医広報委員会について

9. 10/28(月) (県防災庁舎) 県感染症対策審議会について

10. 第2回医師の働き方改革Web研修会について

11. 10/17(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の個別指導について

12. 10/28(月) (県医) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会について

13. 10/22(火) (県医) 全国学校保健・学校医大会シンポジスト打合せ会について

14. 10/24(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

15. 10/29(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

16. 10/22(火) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

17. 10/22(火) (県医) 組織強化・将来構想委員会について

18. 10/29(火) (宮大医学部) 宮大医学部附属病院専門研修プログラム連絡協議会について
19. 10/16(水)・17(木) (広島) 日本認知症グループホーム全国大会について
20. 10/23(水) (宮崎市郡医師会) 県中部地域産業保健センター運営協議会について
21. 10/24(木) (県医) 産業保健活動推進全国会議について
22. 10/27(日) (東京) 都道府県災害医療コーディネーター研修について
23. 10/22(火) (県医) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について
24. 10/21(月) (県医) 臨床研究倫理審査準備会について
25. 10/26(土) (県医) ICLS指導者養成ワークショップについて
26. 10/27(日) (県医) ACLS研修会について
27. 10/26(土) (福岡) 全国医師会勤務医部会連絡協議会について
28. 10/21(月) (県医) 労災診療費算定実務研修会について
29. 10/21(月) (第一宮銀ビル) 県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会について
医師連盟関係
(議決事項)
1. 11/19(火) (日医) 日本医師連盟執行委員会の開催について
河野委員長が出席することが承認された。

お知らせ

令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和7年3月末卒業予定者

【就職希望者】 8名(男0人, 女8人)

【就職希望地】 宮崎市内5名, 都城1名, 延岡・日向2名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

県 医 の 動 き

(11月)

1	県認知症疾患医療センター指定医療機関選考委員会（荒木常任理事他）
2	県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会（小牧副会長他） 全国医師協同組合連合会通常総会（理事長他）
3	県医親善ゴルフ大会（小牧副会長） 世界糖尿病デーin宮崎2024県民公開講座
4	県総合防災訓練（金丸副会長）
5	第8回常任理事協議会（Web会議）（会長他）
6	西諸地域医療構想調整会議（金丸副会長）
7	全国学校保健・安全研究大会（会長） 宮大医学部医の倫理委員会（上山理事） 日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事） 全国学校薬剤師大会（会長） 県産婦人科医会献金委員会（Web会議）
8	全国学校保健会中央大会（会長） 九医連学校医会評議員会・総会（会長他） 全国学校保健・学校医大会会長招宴（会長他）
9	九州各県内科医会連絡協議会（玉置常任理事） 全国学校保健・学校医大会（会長他）
10	九州各県内科医会連絡協議会（玉置常任理事） 九州学校検診協議会専門委員会（高木常任理事） 九州学校検診協議会役員会（会長他）
11	県訪問看護ステーション連絡協議会役員会（Web会議）（池井常任理事）
12	宮大医学部附属病院医師研修管理委員会（金丸副会長） 第15回全理事協議会（会長他） 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会（会長他）
13	県社会福祉審議会児童福祉専門分科会（小牧副会長） 支払基金審査運営協議会（会長） 広報委員会（荒木常任理事他）
14	医業経営塾特別企画セミナー 日医有床診療所委員会（Web会議）（会長） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（上山理事）
15	九医連常任委員会（会長） 九医連臨時委員総会（会長他） 県外科医会秋期講演会（Web会議）
16	九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会（会長他） 九州医師会総会・医学会（会長他） 県整形外科医会研修会
17	九医学分科会・記念行事

18	医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議） 介護保険委員会（Web会議）（会長他）
19	都道府県医師会会長会議（会長） 日医連執行委員会（委員長）
20	県訪問看護推進協議会（池井常任理事） 広報委員会（荒木常任理事他） 医協会計監査（理事長他）
21	ロコモ予防運動推進事業普及講座 社会保険医療担当者の個別指導（玉置常任理事） 医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議 勤務医委員会（Web会議）（会長他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
22	国民医療を守る総決起大会（吉田常任理事他） 全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）（金丸副会長） ロコモ予防運動推進事業普及講座
23	医療メディエーター研修会（基礎編） 宮崎大学医学部附属病院研修ローテート等説明会（落合常任理事）
24	医療メディエーター研修会（基礎編）
25	医学賞選考委員会（小牧副会長他）
26	第16回全理事協議会（会長他） 宮大経営協議会（会長） 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会（大塚常任理事） 宮大学長選考・監察会議（会長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本常任理事） 医協理事会（理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（理事長他） 各郡市医師会会長協議会（会長他）
27	労災診療指導委員会・労災部会理事会（赤須常任理事他）
28	社会保険医療担当者の個別指導（赤須常任理事） 地域医療における働きやすい環境を考える会 学生向けセミナー（上山理事） 組織強化・将来構想委員会小委員会（Web会議）（小牧副会長他）
29	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会（吉見常任理事） 県医中間監事監査（会長他） 各郡市内科医会会長会（玉置常任理事他）
30	産業医研修会（実地）（吉村理事） 九医国保連将来問題検討委員会（佐々木理事） 病院部会・医療法人部会合同理事会・研修会（池井常任理事他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和6年11月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 5人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	2	1	1
外 科	1	1	0
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 101人

	合 計
令和6年度(4/1～11/1)	4
平成16年度から累計	101

3. 求人登録 103件 289人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	91	68	23	消 化 器 外 科	4	3	1
外 科	22	19	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	19	16	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	14	11	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	6	6	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	1	1	0
総 合 診 療 科 ・ 内 科	11	7	4	診 療 科 目 不 問	7	3	4
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	5	3	2	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	289	221	68

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形外,麻	3	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のさきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和6年11月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡（1,348.18坪） 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡（250.20坪） ※駐車場あり（70台）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡（501.38坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）	所有者：（医）社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 都城市東町10街区18号 土地：614.18㎡（186.11坪） 建物：鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡（293.49坪） ※駐車場あり（3台） 別に隣接病院駐車場あり（応相談） ※賃貸部分は，2階，3階（グループホームやすらぎ）	所有者：都城市北諸県郡医師会員 （医）与州会 柳田病院
	③ 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地：750.44㎡（227.40坪） 建物：木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡（99.62坪） ※駐車場あり（15台）	所有者：宮崎市郡医師会員 （医）健心会 滝口内科医院 （旧）のぞみ医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地（宮崎県医師協同組合）

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

T E L： F A X：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年11月28日

12			月		
1	日	9:00 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会 (Web会議) 10:00 (東京) 全国有床診療所協議会理事会・臨時社員総会	15	日	8:30 指導医のための教育ワークショップ 9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
2	月	19:00 セキュリティインシデント対応ワークショップ	16	月	17:00 宮大医学部地域枠全体ミーティング 19:00 広報委員会 19:00 自殺対策うつ病研修会 (Web会議)
3	火	19:00 第9回常任理事協議会	17	火	第17回全理事協議会 日医連拡大選挙対策会議 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 全国学校保健・学校医大会反省会・役職員懇談会
4	水	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)			
5	木	13:30 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 (Web会議) 14:00 宮大医学部医の倫理委員会 15:00 (日医) 日医地域医療対策委員会	18	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 三師会会長会
		15:00 (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議) 19:00 広報委員会	19	木	13:30 県保険者協議会 14:00 社会保険医療担当者の集団的個別指導 15:30 (日医) 日医医療経営検討委員会 18:00 県医療審議会
6	金	13:00 (日医) 日医家族計画・母体保護法指導者講習会 14:30 産業医研修会 (TV会議)			
7	土		20	金	19:00 (都城市) 都城市北諸県郡医師会忘年会
8	日		21	土	
9	月	17:00 県地域医療対策協議会プログラム運用部会 18:00 県地域医療対策協議会	22	日	13:00 医療メディエーター研修会 (補講編)
10	火	19:00 医師会立看護学校担当理事連絡協議会 (Web会議)	23	月	
11	水	13:00 県デジタル社会推進協議会 (Web会議) 16:00 日医公衆衛生委員会	24	火	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 19:00 第18回全理事協議会 (Web会議)
12	木	14:00 社会保険医療担当者の新規個別指導 14:00 (日医) 日医広報委員会 15:30 社会保険医療担当者の個別指導 19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議) 19:00 (延岡市) 延岡市医師会会員忘年会	25	水	(会館大掃除) 労災診療指導委員会・労災部会理事会 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
		15:30 都道府県医師会公益法人制度改革担当理事連絡協議会 (Web会議) 16:00 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会議) 18:00 指導医のための教育ワークショップ打合せ会 19:00 県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修会 (Web会議)	26	木	13:00 (日医) 日医救急災害医療対策委員会 14:00 (日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 15:00 日医医療安全対策委員会 (Web会議) 19:00 医師国保組合理事会
14	土	9:00 指導医のための教育ワークショップ 13:35 指導医のための教育ワークショップ記念撮影 15:00 県産婦人科医会ひむか性教育シンポジウム (Web会議)	27	金	仕事納め式
			28	土	
			29	日	(年末休業)
			30	月	(年末休業)
			31	火	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年11月28日

1			月			
1	水	(年始休業)	19	日	9:00 (熊本)九州ブロック災害医療研修会 9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	↑
2	木	(年始休業)				
3	金	(年始休業)	20	月		国 保 審 査
4	土		21	火	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 15:00 (日医)都道府県医師会会長会議	
5	日					↑
6	月	仕事始め式 13:00 新年賀詞交歓会	22	水	19:00 広報委員会	
			23	木	19:00 医師国保組合定例事務監査	↓
7	火	19:00 第10回常任理事協議会	24	金	13:00 日医財務委員会 15:30 日医医師会共同利用施設検討委員会(Web会議) 18:00 県地域医療構想調整会議	
8	水	14:00 (えびの市)ロコモ予防運動推進事業普及講座				社 保 審 査
9	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会(Web会議) 19:00 (小林市)西諸地域医療構想調整会議医療機関部会	25	土	15:00 (福岡)九州学校検診協議会専門委員会 15:00 県産婦人科医会冬期定時総会・学術講演会(Web会議) 17:00 (福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会	
10	金	19:00 広報委員会				↓
11	土	16:00 自賠責保険研修会(Web会議) 19:00 三師会合同新春懇談会	26	日		
12	日		27	月		
13	月	9:00 (日医)日医JMAT研修会(基礎編)	28	火	第20回全理事協議会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 各郡市医師会長協議会	
14	火	19:00 第19回全理事協議会(Web会議)				
15	水	10:00 県個人情報保護審議会 16:00 支払基金審査運営協議会	29	水	13:00 県ロコモティブシンドローム対策協議会(Web会議) 14:00 (日医)日医地域医療対策委員会 15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会	
16	木	18:45 スポーツドクター連盟総会(Web会議) 19:00 健康スポーツ医学セミナー(Web会議)				
17	金	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 19:00 県外科医会理事会(Web会議)	30	木	18:30 勤務医部会理事会(Web会議) 19:00 勤務医部会後期講演会(Web会議) 19:00 医師国保組合理事会	
18	土	15:00 九州各県内科医会会長会議(Web会議) 16:00 (熊本)九州ブロック災害医療研修会 17:10 (熊本)九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会				
			31	金	18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会(Web会議) 19:00 医療現場のワークライフバランスセミナー(Web会議)	

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和6年度第1回 宮崎県かかりつけ 医等発達障害対応 力向上研修会 (Web講習会) 12月1日(日) 9:00～12:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	今，発達障害の理解に必要な知識 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こそえ	72 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	5歳児健診開始に向けて 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員 森 こそえ	11 (1.0)	
	心理士の視点でみた子どもの特性・保護者への関わり 宮崎市総合発達支援センター 公認心理師 伊東 美和	10 (1.0)	
令和6年度児湯5 町における在宅医 療従事者のための 研修会 12月3日(火) 19:00～20:00 ホテル四季亭2階 舞鶴	ACP 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)を見つ めなおし，どう住民にひろげていくか？ 宮崎大学医学部附属病院 臨床倫理部 教授 板井 孝彦郎	81 (1.0)	◇主催 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641 ◇共催 児湯医療介護連携室 (高鍋町・新富町・木 城町・川南町・都農町)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
感染症セミナーin 宮崎～インフルエンザ・COVID-19 診療up to date～ (Web講習会) 12月5日(木) 19:00～20:00 アートホテル宮崎 スカイトワー3階 「浜木綿」 ※受講は現地またはWeb	呼吸器ウイルス感染症の流行機序“DOTS”を知り、感 染防止・制御に繋げる 佐賀大学医学部 国際医療学講座 臨床感染症学分野 教授 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 部長 青木 洋介	8 (1.0)	◇主催 宮崎県小児科医会 ◇共催 ※塩野義製薬㈱ ☎0985-27-1041
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 12月5日(木) 19:00～20:00 未来創造ステーシ ョン会議室1 ※受講は現地またはWeb	都城市における慢性腎臓病(CKD)予防連携の取り組み ～糖尿病関連腎臓病を考慮した2型糖尿病治療GLP-1 受容体作動薬の活かし方～ 西浦病院 院長 西浦 亮介	73 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 ノボノルディスクファーマ㈱
令和6年度生活習 慣病検診従事者研 修会 特定健康診 査等従事者研修会 (Web講習会) 12月6日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館 【TV会議場：都城、 延岡、日向、児湯、 西都、西諸、西臼杵】	肺がん検診 宮崎大学医学部附属病院 放射線科 講師 中田 博 ----- 乳がん検診について 宮崎江南病院 院長 白尾 一定 ----- 胃がん検診の現状と今後の展望 潤和会記念病院 消化器科 部長 宮崎 貴浩 ----- 大腸癌検診 古賀総合病院 消化器内科 部長 田井 博	7 (0.5) (肺) ----- 11 (0.5) (乳) ----- 12 (0.5) (胃) ----- 82 (0.5) (大腸)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度HIV・エイズ対策講習会 12月7日(土) 14:00～16:00 県立宮崎病院1階講堂	HIV診療について ～変化している診療と変化していない事～ 南奈良総合医療センター 感染症内科 部長 宇野 健司 他	8 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 ※宮崎県業務感染症対策課 ☎0985-44-2620
宮崎市郡医師会産業医部会研修会 12月7日(土) 14:15～17:20 宮崎市郡医師会館1階講堂	職場コミュニケーションを円滑に～ハラスメントを防ぐ～ 串間市民病院 病院長 江藤 敏治	70 (1.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	労働衛生の現状等について 宮崎労働基準監督署 安全衛生課 課長 田邊 圭	5 (1.5)	
第89回宮崎整形外科懇話会 12月7日(土) 17:30～18:30 宮崎大学医学部臨床研究棟205教室 参加費:1,000円	これだけは知っておきたい小児運動器疾患 ～将来の関節症予防を踏まえて～ 南大阪小児リハビリテーション病院 整形外科 非常勤医師 薩摩 真一	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
Kampo * Vasospastic Angina Seminar in Miyazaki 12月7日(土) 17:30～18:40 KITENビル大会 議室 ※受講は現地また はWeb	冠攣縮に対する薬物治療 ～漢方薬はエビデンスを構築出来るか～ 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一	83 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会東洋医会 ◇共催 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663
	胸痛に役立つ漢方薬の使い方 ～2023年JCS/CVIT/JCCガイドライン フォーカスアッ プデート版 冠攣縮性狭心症と冠微小循環障害の診断 と治療の理解を深めるために～ 新神戸きたむら内科 循環器・漢方クリニック 院長 島根大学医学部 臨床教授 北村 順	83 (1.0)	
第91回宮崎県精神 科医会懇話会 12月7日(土) 17:30～19:00 ホテルメリージュ 3階	健康長寿を目指した統合失調症治療 神戸大学医学研究科 精神医学分野 教授 菱本 明豊	11 (1.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 大塚製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第190回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 12月9日(月) 19:00～20:15 宮崎観光ホテル東館2階「初雁の間」 ※受講はWebのみ	超高齢化時代の循環器診療とは？ 鹿児島大学医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学 教授 大石 充 他	9 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 日本メドトロニック(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講習会) 12月10日(火) 19:00～20:00 KITTO小林 ※受講は現地またはWeb	地域で取り組む骨粗鬆症の治療 ～二次性骨折予防継続管理料について～ 宮崎大学医学部 整形外科 講師 船元 太郎	77 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 第一三共(株)
第1回令和版冷え研セミナー (Web講習会) 12月11日(水) 19:10～20:10 アートホテル宮崎スカイタワー ※受講はWebのみ	いまさら聞けない冷え症外来のノウハウ 漢方を基本に様々なアプローチ ～蓄積した冷え研究会のデータも交えて～ ちぐさ東洋クリニック 院長 川越 宏文	83 (1.0)	◇主催 宮崎県東洋医学会 ◇共催 ※クラシエ薬品(株) ☎092-291-8131

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度HTLV-1母子感染対策事業研修会 (Web講習会) 12月13日(金) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	HTLV-1の治療の最前線や海外(ペルー等)の状況 宮崎大学医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野 教授 森下 和広	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118
令和6年第5回宮崎県緩和ケア研修会 集合研修 12月14日(土) 8:30～17:00 県立日南病院 2階講堂	e-learningの復習・質問 県立日南病院 副院長 市成 秀樹	15 (0.5)	◇主催 ※県立日南病院 ☎0987-58-2152
	コミュニケーション(ロールプレイングによる演習) アイス・ブレイキング 県立宮崎病院 精神科部長 並木 薫 他	4 (2.0)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア(グループ演習) 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科 助教 山賀 昌治	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携(グループ演習) 県立日南病院 患者支援センター長 木佐貫 篤 他	12 (1.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度医療機関・介護施設等従事者結核研修会 (Web講習会) 12月17日(火) 19:00～20:30 日南保健所多目的室 ※受講は現地またはWeb	感染症のリスク管理 感染症と人間の関わり ～結核・非結核性抗酸菌症の普遍性, 特殊性～ 宮崎東病院 院長 伊井 敏彦	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県日南保健所 ☎0987-23-3141
宮崎県医師会産業医研修会 12月17日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 12月19日(木) 19:00～20:00 ホテルベルフォート日向本館2階 「シンフォニールーム」 ※受講は現地またはWeb	これからの糖尿病診療のあり方 ～チルゼパチドをいかにつかいこなすか～ 熊本大学生命科学研究部 代謝内科学講座 准教授 松村 剛	76 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡医師会内科医会 田辺三菱製薬(株) 日本イーライリリー(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第4回日南クリニ カルパスを学ぶ会 12月21日(土) 14:00～17:00 県立日南病院講堂	診療情報管理士がクリニカルパスに関わること 東京医療センター事務部企画課 目黒 康平	10 (1.0)	◇主催 県立日南病院患者支 援センター/パス推進室 (連絡先) 県立日南病院患者支援センター ☎0987-23-3111
	パスチームと診療情報管理士の関わりについて 浜の町病院 診療支援部診療情報管理室 中井 志帆	10 (1.0)	
	他		
第208回宮崎県眼 科医会講習会 12月21日(土) 16:00～18:35 KITENビル大会 議室 参加費:3,000円	人生100年時代を見据えた緑内障早期治療介入を考える 東邦大学医療センター大橋病院 眼科 臨床教授 石田 恭子	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	幹細胞による角膜の再生医療 大阪大学医学系研究科 脳神経感覚器外科(眼科学) 教授 西田 幸二	36 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和6年度宮崎県 医師会健康スポー ツ医学セミナー (Web講習会) 1月16日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	燃ゆる感動鹿児島国体 医療・救護実績報告 霧島整形外科病院 理事長・病院長 公益社団法人鹿児島県医師会 理事 井尻 幸成 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	10 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	障がい者スポーツ(パラスポーツ)における医学的管理の 重要性 ちゅうざん病院 理事長・病院長 田島 文博 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	1 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 1月18日(土) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	石綿(アスベスト)関連疾患診断技術研修会(専門研修) 「石綿関連疾患胸部画像診断の読影実習」 川崎医科大学 総合放射線医学 教授 加藤 勝也 他 生涯研修の実地研修会：2単位	45 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第80回宮崎県耳鼻咽喉科懇話会臨床セミナー (Web講習会) 1月18日(土) 18:20～20:00 アートホテル宮崎スカイタワー ※受講は現地またはWeb	嚥下性肺炎を防ぐメカニズムと誤嚥への対応 佐賀大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 杉山 庸一郎	47 (1.0)	◇主催 宮崎県耳鼻咽喉科懇話会 ◇共催 杏林製薬(株) ☎0985-27-3301 ◇後援 日耳鼻宮崎県地方部会 宮崎県耳鼻咽喉科医会
令和6年度宮崎県産婦人科医会・産科婦人科学会冬期定時総会 (Web講習会) 1月25日(土) 15:00～17:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	子宮頸がん検診の今後～HPV検査をどう使うか～ 佐賀大学医学部 産科婦人科学 教授 横山 正俊	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県産科婦人科学会
【9/28延期分】 延岡医学会学術講演会 ～第59回宮崎県北地区整形外科医学会学術講演会～ 1月25日(土) 16:00～18:00 キャトルセゾン・マツイ	変形性股関節症に対する保存療法から外科的治療まで 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 助教 中村 嘉宏	61 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区整形外科医会 持田製薬(株) 持田製薬販売(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	複雑化する重症骨粗鬆症治療をシンプルに考える ～各骨形成促進剤の特徴と逐次療法の基本～ 熊本機能病院 整形外科 部長 清田 克彦	77 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 1月29日(水) 19:00～20:10 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	COVID-19/インフルエンザ診療 up to date ～抗ウイルス薬による治療意義を考える～ 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可	11 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 塩野義製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 1月30日(木) 13:30～15:30 延岡市職業訓練支 援センター	令和6年、この一年間の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月31日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(2) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月6日(木) 13:30~15:30 都城市北諸県郡医 師会館	令和6年、この一年間の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会: 2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第1回若手医師の ための呼吸療法ワ ークショップ 2月8日(土) 13:00~17:30 アステム宮崎支店	バッグバルブマスクとジャクソンリースの効果と操作 方法 宮崎大学医学部附属病院 ME機器センター 臨床工学技士 宮原 史和 他	44 (1.0)	◇主催 ※宮崎ME研究会 ☎0985-85-9724 ◇共催 フクダ電子(株) PHILIPS Fisher&Paykel Healthcare MPI Ambu
	人工呼吸器の基本設定方法とグラフィック波形の見方、 肺保護換気とAPRV、経肺圧について 宮崎大学医学部附属病院 ME機器センター 臨床工学技士 宮原 史和 他	16 (2.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月13日(木) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	令和6年、この一年間の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度依存症 対策地域支援事業 (Web講習会) 2月15日(土) 13:00～16:00 宮崎県防災庁舎72 号・73号 ※受講は現地またはWeb	「ダメ。ゼッタイ。」だけではダメ？ ～「捕まらない」薬物乱用の理解と支援～ 向陽台病院 副院長 武藤 岳夫	69 (1.5)	◇主催 宮崎県 (連絡先) ウエルフェアみやざ き総合研究所 ☎0985-41-6540
	宮崎県における薬物乱用対策について 宮崎県福祉保健部 薬務感染症対策課薬務対策室 主査 池宮 紘陽 他	9 (0.5)	
	体験談 ひごのいえ 代表理事 栃原 慎太郎 他	5 (0.5)	

診療メモ



がんの陽子線治療

指宿市 メディポリス国際陽子線治療センター センター長 おぎ の たかし
萩 野 尚

陽子線治療とは放射線治療の一つです。現在最も普及している放射線治療装置はリニアックで、この装置で発生させたX（エックス）線を用いて治療します。X線の体内での吸収は表面に近いところで高く、深くなるにつれて徐々に減少し、体を突き抜けてしまいます。

ところが陽子線は体内に入射されても表面近くではあまり吸収されません。体内で次第に速度を落としますが、止まる直前に一気にエネルギーを放出し、周囲の組織はそのエネルギーを吸収します。これをブラッグピークと呼びます。がん病巣がこのピークの深さにあれば、周囲の正常組織への影響を最小限で済ませることが

可能で、効率よく病巣のみ放射線を照射することができるわけです。体の表面から病巣までの距離はさまざまですので、このブラッグピークは治療ごとに変えなければなりません。陽子線は加速エネルギーを変えることによって深さの調節ができます。また、がんの大きさもそれぞれ違うので陽子線を調整してピークの幅を広げる必要があります（これを拡大ブラッグピークと呼びます）。これも陽子線では可能です。このような放射線ビームの加工はX線ではできないことなのです。陽子線治療は、水素の原子核である陽子を光速の60～70%の速さに加速した陽子線を治療に用いています（図1）。

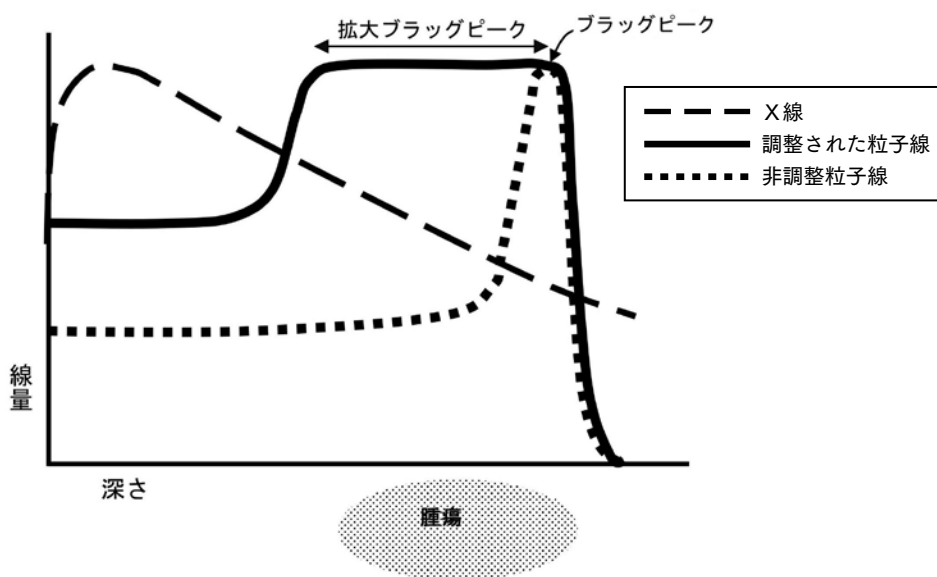


図1 X線と陽子線の比較

陽子線治療装置は陽子を加速するための加速器、寝台に寝たまの患者さんに最適な方向から照射する回転ガントリーなどの機器から構成されます。それぞれが非常に大きい装置ですので、まだ日本に20施設、世界全体でも150施設ほどしかありません。ちなみに回転ガントリーという装置は直径が約10mで重さが175トンあります。

陽子線治療ではがん病巣のみを狙った効率のよい放射線治療ができます。したがって、狙った病巣へ今まで以上の大量の放射線を照射できます。その結果として従来の放射線治療では治癒しきれなかった難治がんでも治癒の可能性が出てきます。また、ある一定の深さまでしか到達しませんので、放射線に弱い臓器ががんに近接して存在しても、安全に治療することができます。さらに周囲の正常組織への放射線量を減らすことが可能ですので、副作用が少なく、手術では大きなリスクが予想される高齢者のがんや手術不適応患者さんでも治療が可能となります。この利点を発揮するには比較的早期のがんがよい適応となります。進行したがんは原則的には適応とはなりません（図2）。

1回の治療は15～40分で終わります。これを数回から数十回繰り返します（病気の部位と大きさにより変わります）。したがって、治療期間は2～8週間です。基本的に陽子線治療は入院の必要がありません。通院できる方は通院で治療した方がよいと思います（それだけ治療中の副作用は少ないということです）。

陽子線治療は国から「先進医療」の適用を受け、その技術料（約300万円）は自己負担となります。民間保険会社のがん保険や先進医療特約に加入していると、この治療費は保険会社の負担となります。しかし、2016年より公的医療保険の適応疾患が増えてきました。現在では、小児腫瘍、一部の頭頸部癌、骨軟部腫瘍、前立腺癌、大型の肝臓癌、局所進行性膵臓癌、肝内胆管癌、大腸癌の手術後再発、そして早期の肺癌が保険適応となっています（ただし実施には多少条件があります）。当然保険証が効きますので患者さんの経済的負担は著しく低減されました。これからも公的医療保険の適応が拡大することを期待しています。

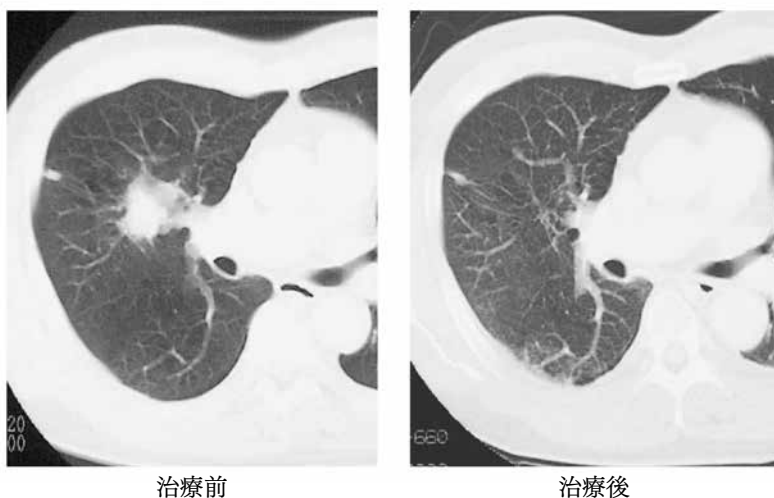


図2 I期肺癌の治療例

宮大医学部学生のページ

研究室配属について
～麻酔生体管理学教室～宮崎大学医学部 医学科3年 ^{あん}安 ^{どう}東 ^{とも}知 ^{あき}晃

宮崎大学医学部医学科では3回生のカリキュラムで研究室配属実習があります。基礎科目分野、臨床科目分野合わせて40室ほどの研究室の中から学生一人ひとりがそれぞれ希望の研究室を選び、約1か月間所属して、医学研究への考え方や基本的な手法などを学びます。今年は10月7日から11月7日まで行われ、私は臨床科目分野の麻酔生体管理学教室で勉強させていただきました。麻酔生体管理学教室では曜日ごとに別々の実験を同時並行で進める形となっていたため、多くの研究に触れることができました。

まず、月曜日は血管可視化装置を用いて絶飲絶食時や経口補水後の静脈径を測定して平常時と比較する実験をしました。手術室において静脈ラインを確保する際には、静脈径が太い方が穿刺に有利であるため、駆血して静脈を怒張させます。しかし、患者は術前に絶食・絶飲を指示されているため、軽い脱水状態で手術室に搬入されることが多く、静脈の怒張が抑制されることが懸念されます。今回の実験ではその影響を調べるために研究室の先生方に実験前日の夜12時から翌朝9時まで絶飲絶食していただき、絶飲絶食後、飲水後、食後の3つのポイントで駆血前後の静脈径を測定しました。実験結果から、術前8時間程度の絶飲絶食や術前2時間の

経口補水では静脈径に与える影響はほとんどないという結論が出ました。術前の経口補水には術後の腸内環境の回復を早めたり、患者の術前の不快感を和らげたりする役割が強いのではないかと考察しました。他人の手を駆血すること自体初めてだったので力加減が難しく、計測をやり直したり、別の部分を測定したりと試行錯誤しながら実験しました。また、実験結果を見ながら先生方とさまざまな考察を考えている時間が一番研究している実感がわき、普段の講義ではできない体験ができました。

火曜日～木曜日はマウスの痛みにとまなう行動評価を行いました。この研究ではオプトジェネティクスを応用し、光照射で痛みを感じるように遺伝子操作したマウスを用いました。具体的に実験では実験用マウスをPCRでgenotypingしたり、青色と緑色のLED床の2つ部屋にマウスを放して動きを観察したりしました。この実験は大学の動物センターで行いましたが、初めはマスクや帽子などをつける作業に手こずってしまい、動物センター内に入ることさえも大変に感じていました。しかし、麻酔科の先生方が毎回丁寧に教えてくださるおかげで、半月過ぎるころには慣れることができました。また、マウスの床替えや餌替えの手伝いも行いました

が、これも初めは慣れない作業で難しかったです。麻酔科では100匹ほどのマウスを飼っていて、そのすべての日齢や性別、遺伝子を管理しているようで、動物を使った実験をするためには非常に大きな労力が必要だとわかりました。実際にマウスを用いて実験する際も、マウスがとても元気なので逃がしてしまいそうになることもあり、このような面からも動物を用いた実験は大変だなと感じました。

具体的な実験結果について簡単に説明します。まず、そもそもオプトジェネティクスとは、特定の細胞へ光に応答するたんぱく質を導入することで、外部からの光により細胞の活動を操作することです。痛みに関与する電位依存性ナトリウムチャンネルにはNav1.x (x = 1 ~ 9) があり、特に脊髄後根神経節ではNav1.7, 1.8, 1.9が発現しています。今回の実験では、ここに光応答性チャンネルChR2を発現させることで青色の光に痛みを感じるようになった遺伝子改変マウスを使用しました。具体的な行動実験として2つ行い、マウスの足底に異なる光量の青色光を照射し、5回中何回足を引っこめたかを評価する足底照射試験と、青色と緑色のLED床の2つ部屋にマウスを放して自由に行き来させ、10分間でそれぞれの部屋に滞在した割合を評価するOPA試験を行いました。このうち、足底照射実験ではマウスがとても動くため、光に反応して足を挙げているのかただ動いているのかを見極めるのがとても難解でした。実験の結果、遺伝子改変マウスが明らかに光に敏感になっていることが確認でき、オプトジェネティクスという技術に非常に驚かされました。

金曜日はResiniferatoxin (RTX) をマウスの脊髄後根神経節に投与して長期的にマウスの痛覚閾値が低下するかを観察しました。このマウ

スは先ほど説明したマウスと同じ遺伝子操作マウスを使っているため、vonFrey試験*とOPA試験により、RTXを投与したマウスが光に嫌悪性を持つかどうかを調べることができます。数週間にわたって観察しましたが、長期的であるがゆえに実験結果をもとに考察するのが非常に難しかったです。さらに、前週の実験結果より導いた考察へ、無意識に測定値を寄せてしまいそうになり、考察と主観の分別に苦労しました。また、先生にExcelの使い方も教えていただき、標準偏差や有意差についても勉強できました。

このように、麻酔生体管理学教室ではさまざまな研究に参加させていただきました。さらに、実習の最終日には研究室実習生発表会に向けた発表の練習も見ていただきました。発表では話すスピードに気を付けたり、スライドのレイアウトをできるだけ見やすくしたりと、将来必要になるであろうことをたくさん勉強できました。

この1か月で、麻酔生体管理学分野の魅力を数多く学ばせていただきました。ただ、それもほんの一部なのだと思います。これからまた勉強してあらためて麻酔学に触れたときに、より多くの魅力を感じられるように励んでいこうと思います。また、麻酔学だけでなく他の臨床科目についてもたくさんの魅力があるはずなので、これからの臨床科目の講義がとても楽しみです。

最後に、非常にご多忙の中で1か月という長い間、これほどの素晴らしい経験をさせてくださった麻酔生体管理学分野のスタッフの皆様から心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

* vonFrey試験 … 疼痛試験

令和6年 総目次 (No.893~No.904)

【表紙】

龍	宮 崎 市	大 迫 文 子	1月号
寒暮 (アオサギ)	国 富 町	原 政 樹	2月号
若い人	宮 崎 市	石 川 万佐子	3月号
SL人吉	都 城 市	山 路 健	4月号
泳げ鯉のぼり	宮 崎 市	谷 口 二 郎	5月号
紫陽花	宮 崎 市	木佐貫冬星 (会員家族)	6月号
王漁洋詩	延 岡 市	岡 村 公 子	7月号
凜として	宮 崎 市	野 崎 藤 子	8月号
コスモス	宮 崎 市	松 本 健 吾	9月号
仮面の店	宮 崎 市	浅 見 鳴 子	10月号
波 紋	国 富 町	原 政 樹	11月号
ノスタルジー	宮 崎 市	木佐貫冬星 (会員家族)	12月号
【会長のページ】	会 長	河 野 雅 行	

年頭所感	1月号
医師の品位	2月号
トリプル改定	3月号
医師不足対策の一考	4月号
Web会議	5月号
新研修医に期待する	6月号
10年ひと昔	7月号
怖いもの	8月号
高齢者免許	9月号
全国学校保健・学校医大会	10月号
マスク	11月号
支払基金改革	12月号

【日州医談】

産業医に関するトピックス 産業医ではない先生方にも関連した話題

	常任理事	吉 見 雅 博	2月号
「医師の働き方改革」が始まります	常任理事	池 井 義 彦	2月号
医師の働き方改革がもたらすもの	理 事	田 畑 直 人	3月号
かかりつけ医機能が発揮される制度整備について	常任理事	池 井 義 彦	3月号
自然災害と日本医師会災害医療チーム (JMAT)	理 事	落 合 秀 信	4月号
災害への備え	理 事	山 中 聡	5月号

健康運動看護師（健康スポーツナース）について	理 事	河 原 勝 博	6月号
宮崎県医師協同組合を気軽に活用しましょう！	理 事	吉 村 雄 樹	7月号
健康食品・サプリメントについて	副 会 長	小 牧 齋	8月号
永遠の今でつながる地域包括ケアシステム～地域における面としてのかかりつけ医機能を発揮して～	副 会 長	金 丸 吉 昌	9月号
新会員情報管理システムMAMIS（マミス）について	常任理事	市 来 能 成	10月号
新型コロナワクチン定期接種について	常任理事	吉 田 建 世	11月号
宮崎県における女性医師支援	常任理事	荒 木 早 苗	12月号

【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	松 本 吉 郎	1月号
年頭所感	顧 問	秦 喜八郎	1月号
年頭所感	顧 問	稲 倉 正 孝	1月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	高 村 一 志	1月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	田 口 利 文	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	佐 藤 信 博	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	千代反田 晋	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市西児湯医師会長	松 本 英 裕	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	西諸医師会長	内 村 大 介	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	植 松 昌 俊	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	帖 佐 悦 男	1月号
年頭所感	内科医会長	比 嘉 利 信	1月号
年頭所感	小児科医会長	高 村 一 志	1月号
年頭所感	外科医会長	白 尾 一 定	1月号
年頭所感	整形外科医会長	川 越 正 一	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	田 尻 明 彦	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	川 越 靖 之	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	福 田 聡一郎	1月号
年頭所感	眼科医会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	坪 井 康 浩	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	放射線科医会長	杜 若 陽 祐	1月号
年頭所感	東洋医会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号
年頭のご挨拶	宮崎大学長	鮫 島 浩	1月号

年頭のご挨拶	衆議院議員（1区）	渡 辺 創	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（2区）	江 藤 拓	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（3区）	古 川 禎 久	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（比例）	武 井 俊 輔	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（比例）	長 友 慎 治	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長 峯 誠	1月号
年頭のご挨拶	自民党厚生労働部会長代理・参議院議員	羽生田 俊	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	自 見 はなこ	1月号

【退任教授挨拶】

臨床神経科学講座 精神医学分野	教 授	石 田 康	6月号
臨床神経科学講座 脳神経外科学分野	教 授	竹 島 秀 雄	6月号

【就任教授挨拶】

病理学講座 腫瘍形態病態学分野	教 授	佐 藤 勇一郎	6月号
臨床神経科学講座 脳神経外科学分野	教 授	沖 田 典 子	7月号
感覚運動医学講座 整形外科学分野	教 授	亀 井 直 輔	12月号

【随想・随筆】

宇佐市観光	延岡市	石 橋 俊 秀	3月号
日向市内観光	延岡市	石 橋 俊 秀	4月号
スキーと雪崩	宮崎市	高 崎 眞 弓	5月号
道の駅－延岡から島原－	延岡市	石 橋 俊 秀	5月号
延岡市の道の駅	延岡市	石 橋 俊 秀	6月号
人との出逢い：恩師の思い出 その1 小学校から中学4年まで	宮崎市	森 憲 正	9月号
“正しい資質”とは？ What's “The Right Stuff”？	日南市	北 村 和 生	9月号
「くらきより くらき道にぞいりぬべき はるかに照らせ 山の端の月（和泉式部）」と Advance Care Planning（ACP）または人生会議	宮崎市	濱 川 俊 朗	9月号
人との出逢い：恩師の思い出 その2 海軍兵学校入校から終戦まで	宮崎市	森 憲 正	10月号
串間市観光	延岡市	石 橋 俊 秀	10月号
あなた本当にイシ？	宮崎市	谷 口 二 郎	10月号
コスモス巡り	延岡市	石 橋 俊 秀	11月号
モロッコ2,600kmバスの旅	宮崎市	高 崎 眞 弓	12月号
人との出逢い：恩師の思い出 その3 戦後、大学入学前まで	宮崎市	森 憲 正	12月号
日南市観光	延岡市	石 橋 俊 秀	12月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

宮崎のことば	宮 崎 市	高 橋 邦 行	1月号
出雲大社	延 岡 市	馬 場 佳 子	1月号
ギターの沼	宮 崎 市	黒 木 龍 二	1月号
名札の必要性	宮 崎 市	谷 口 二 郎	1月号
薔薇弄り	宮 崎 市	中 山 健	1月号
ひむかラブラブプロジェクト	延 岡 市	石 橋 俊 秀	1月号
第30回宮崎県警察医会総会・特別講演会を振り返って			
	都 城 市	柳 田 美津郎	1月号
素敵な勘違い	日 南 市	山 口 和 正	1月号
白昼夢	延 岡 市	長 沼 弘三郎	1月号
斬 新	日 向 市	堀之内 和 代	1月号
中国旅行（36年前）	日 向 市	久 保 浩 秀	1月号
医療事故調査制度が危うい	宮 崎 市	高 宮 眞 樹	1月号
絶滅危惧種	串 間 市	野 田 隆	1月号
水晶の歌声とバンドゥーラの可憐な響き	宮 崎 市	林 透	2月号
産めよ、増えよ、地に満ちよ	小 林 市	上 田 集 久	2月号
テニス三昧の日々	高 鍋 町	鶴 紀 子	2月号
緑寿（ろくじゅ）に思う	宮 崎 市	遠 藤 豊	2月号
7回目の辰年	宮 崎 市	獅子目 賢一郎	2月号
還暦を迎えて想うこと	宮 崎 市	秋 月 英 治	2月号
少年野球	宮 崎 市	岩 永 巖	2月号
春光会記念コーヒー	日 南 市	山 田 学	2月号
彗星観測の楽しみ	高 鍋 町	大 森 史 彦	2月号
精神満腹	宮 崎 市	宮 永 省 三	2月号

【はまゆう随筆・短歌・俳句】

産婦人科医になった理由	宮 崎 市	谷 口 二 郎	7月号
素敵なゲシュタルト崩壊	日 南 市	山 口 和 正	7月号
米国胸部学会ATS2024サンディエゴ報告	日之影町	重 永 哲 洋	7月号
喜寿に寄せてー奇遇の蓄積か	西 都 市	佐 藤 幸 憲	7月号
ゴルフとスキーのすすめ	宮 崎 市	伊 井 敏 彦	7月号
忍者武芸帳	綾 町	中 村 政 人	7月号
ジャズとバイオリン	串 間 市	川 畠 尚 志	7月号
手術の極意とそろばん学校のケンケンパー	宮 崎 市	上 田 孝	7月号
デジタルサイネージ	三 股 町	小 牧 文 雄	7月号
南郷と唐津の海 遠泳大会の思い出	都 城 市	前 田 嘉 子	7月号
母の日	都 城 市	柳 田 かえで	7月号

小旅行	宮 崎 市	小 澤 仁 雄	7月号
マインドフル森林セラピーツアー体験	宮 崎 市	有 村 保 次	7月号
接遇講習（～求人難騒動記～）	宮 崎 市	高 木 千 晶	7月号
私の山歩（サンボ）（米寿随筆依頼）	宮 崎 市	弓 削 達 雄	8月号
想 念	延 岡 市	長 沼 弘三郎	8月号
昭和100年を迎えんとして考えること	延 岡 市	前 田 資 雄	8月号
ウユニ塩湖に乾杯～日本の裏側で日本のよさを知る～	宮 崎 市	井 上 知 宏	8月号
県南学校探訪記	日 南 市	北 村 恵 子	8月号
居者とルーク・フィルズの「The doctor」	日 向 市	上 園 繁 弘	8月号
世界遺産を歩く	宮 崎 市	古 郷 博	8月号
コロナワクチンのその後	宮 崎 市	高 橋 典 子	8月号
在宅での終活談話	宮 崎 市	日 高 四 郎	8月号
愛犬との食卓	宮 崎 市	丸 山 亮	8月号
大分旅行	延 岡 市	石 橋 俊 秀	8月号
『近くの病院』で『長く』『広く』付き合う	日 向 市	水 野 隆 之	8月号
ミュージアムショップ	宮 崎 市	東 久美子	8月号
ニューイヤーコンサート	宮 崎 市	田 崎 高 伸	8月号
密かな報告	宮 崎 市	三 嶋 悠 佳	8月号

【特 集】

第1回 宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業に寄せて

宮崎大学医学部長 菱 川 善 隆 1月号

第2回 50周年に寄せて 宮崎大学医学部 医学科 同窓会長 丸 山 眞 杉 2月号

第3回 宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業に寄せて

宮崎大学医学部附属病院 病院長 帖 佐 悦 男 3月号

第4回 開講50周年事業関連 催しのご案内 4月号

第5回 50周年記念 医学部生とともに

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子 5月号

第6回 50周年記念 医学部生とともに（2）

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子 6月号

第7回 開講50周年記念事業 プレイベントのご案内 7月号

第8回 これからの50年～明日の宮崎の医療を担う人材育成～

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子 8月号

第9回 50周年記念 プレイベント 市民公開講座が開催されました！

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子 9月号

第10回 宮崎大学医学部 卒前・卒後教育に関する文部科学省事業

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子 10月号

第11回 開講50周年記念式典・演奏会/記念祝賀会

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子 11月号

第12回 開講50周年事業～将来を担う次世代に～

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 東 美菜子 12月号

【寄 稿】

50年前の記憶と宮医大学生時代の思い出ぼろぼろ 2024年開講50周年を迎え今昔（前編） 5月号

50年前の記憶と宮医大学生時代の思い出ぼろぼろ 2024年開講50周年を迎え今昔（後編） 6月号

宮崎大学医学部 外科学講座 肝胆膵外科学分野 教授 七 島 篤 志

宮崎看護専門学校 課程変更について

宮崎看護専門学校 校長 白 尾 一 定 6月号

【叙位・叙勲】

令和5年1月～12月までの叙位・叙勲・褒章及び表彰・祝賀受賞会員 1月号

従六位瑞宝双光章 宮崎市郡医師会 故 迫田耕一郎 1月号

瑞宝中綬章 宮崎市郡医師会 菅 沼 龍 夫 6月号

瑞宝小綬章 宮崎市郡医師会 菊 池 郁 夫 6月号

瑞宝小綬章 日向市東臼杵郡医師会 田 中 洋 6月号

瑞宝双光章 延岡市医師会 泉 公 美 6月号

瑞宝中綬章 宮崎大学医学部医師会 長 田 幸 夫 12月号

瑞宝小綬章 宮崎市郡医師会 川 名 隆 司 12月号

瑞宝双光章 宮崎市郡医師会 峯 一 彦 12月号

【表彰・祝賀】

労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰

宮崎市郡医師会 阿久根 広 宣 1月号

労働基準行政関係功勞により厚生労働省労働基準局長表彰

都城市北諸県郡医師会 飯 田 博 幸 1月号

社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰 西臼杵郡医師会 佐 藤 元二郎 2月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰 宮崎市郡医師会 獅子目 輯 3月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

都城市北諸県郡医師会 泊 直十郎 3月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

日向市東臼杵郡医師会 三 股 俊 夫 3月号

公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

都城市北諸県郡医師会 教 山 紘 臣 3月号

公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

延岡市医師会 押領司 篤 茂 3月号

公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

日向市東臼杵郡医師会 田 代 慎二郎 3月号

公衆衛生功勞により宮崎県知事表彰 宮崎市郡医師会 海老原 爲 博 4月号

公衆衛生功勞により宮崎県知事表彰 都城市北諸県郡医師会 宇 宿 修 隆 4月号

公衆衛生功勞により宮崎県知事表彰	延岡市医師会	沖 島 寶 洋	4月号
公衆衛生功勞により宮崎県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	瀧 井 優	4月号
医療功勞により県知事表彰	宮崎市郡医師会	神 尊 敏 彦	7月号
医療功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	有 馬 政 輝	7月号
医療功勞により県知事表彰	延岡市医師会	板 野 晃 成	7月号
医療功勞により県知事表彰	児湯医師会	喜 多 保一郎	7月号
医療功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	宇和田 収	7月号
救急医療事業功勞により県知事表彰	宮崎市郡医師会	関 屋 亮	10月号
救急医療事業功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	伊 達 晴 彦	10月号
救急医療事業功勞により県知事表彰	延岡市医師会	戸 島 信 夫	10月号
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	中 山 郁 男	10月号
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	仮 屋 純 人	10月号
精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	首 藤 謙 二	12月号
精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	河 野 仁 彦	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	津 守 伸一郎	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	西都市西児湯医師会	甲 斐 真 弘	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	宮崎市郡医師会	柴 田 博	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	藤 元 静二郎	12月号
社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	吉 松 正 明	12月号
学校保健功績により日本医師会長表彰	延岡市医師会	富 田 精一郎	12月号
【あなたできますか？】			各 号

【エコー・リレー】

幸せかどうか	西 都 市	小 田 竜	1月号
児童青年期の心の病の患者はどこへ？	高千穂町	興 梶 知 子	1月号
韓国ドラマ	宮 崎 市	福 嶋 秀一郎	2月号
医師の不養生	日 南 市	河 野 清 秀	2月号
ウユニ塩湖と健ちゃんに乾杯	宮 崎 市	井 上 知 宏	3月号
ペットの楽しみ	綾 町	玉 置 昇	3月号
カロリーゼロ理論	都 城 市	酒 井 邦 夫	4月号
クリニックの停電対策	宮 崎 市	弘 野 修 一	4月号

難しき「かな」	宮 崎 市	武 石	剛	5月号
旅 本	延 岡 市	岩 満	章 浩	5月号
女性のライフステージで思うこと（個人の意見です 笑）	宮 崎 市	塩 田	充 恵	6月号
指導するということ	小 林 市	楠 元	規 生	6月号
在宅専門クリニックマナビヤのはじめの一步	宮 崎 市	迫 田	哲 平	7月号
諭される真実	小 林 市	尚 原	正 昭	7月号
スーツ	宮 崎 市	藤 木	啓	8月号
クリニックはじめました	小 林 市	柳 邊	秀 一	8月号
ランニング	宮 崎 市	高 村	一 紘	9月号
〇〇スポ！	都 城 市	児 玉	隆 志	9月号
新たなルート	宮 崎 市	青 山	剛 士	10月号
推し活	延 岡 市	久保田	力	10月号
私の憧れ	延 岡 市	岩 谷	健 志	11月号
文 鳥	宮 崎 市	松 村	研 吾	11月号
常識を打ち破れ！	日 向 市	高 石	真那斗	12月号
油 画	宮 崎 市	松 本	健 吾	12月号

【宮崎グルメ探訪】

No.10 BISTRO もんしゅしゅ	宮 崎 市	稲 倉	琢 也	1月号
No.11 究極のランチ	宮 崎 市	尾 上	耕 治	3月号
No.12 岡崎牧場ステーキハウス	宮 崎 市	稲 倉	琢 也	4月号
No.13 Bistrot Pangolin	宮 崎 市	谷 口	二 郎	5月号
No.14 元祖 貝汁とちょこっと鮓	宮 崎 市	谷 口	二 郎	12月号

【メディアの目】

新成人へ熱いメッセージ	宮崎日日新聞社 報道部長	中 川	美 香	2月号
「必ず来る災害」に備えて	MRT宮崎放送 報道部長	清 藤	太 輔	3月号
「当たり前」への違和感を言葉に	NHK宮崎放送局 コンテンツセンター長	今 村	史 子	4月号
50億円の行方、じっくりと見守ろう	朝日新聞 前宮崎総局長	森 田	博 志	5月号
フィッシング難民	共同通信社 宮崎支局長	阿 曾	吉 宏	6月号
痛風の功名	時事通信社 宮崎支局長	前 田	憲 之	7月号
待合室の思い出	読売新聞 宮崎支局長	村 岡	経 世	8月号
井戸端会議をしよう	西日本新聞社 宮崎支局長	神 屋	由紀子	9月号
頼りは口コミ	毎日新聞 宮崎支局長	加 藤	学	10月号
災害報道への対応と備え	テレビ宮崎 コンテンツプロデュース局報道部 部長	寺 田	健 吾	11月号
かば先生へ ～子どもへのまなざし、今も	宮崎日日新聞社 報道部長	中 川	美 香	12月号

【身近なお困りごと相談室】

第28回：患者に運転をやめさせたいときの対応について	1月号
第29回：待合室で発生したわいせつ事案への対応について	2月号
第30回：終末期医療と看取りの限界について	3月号
第31回：カルテ開示請求と開示文書について	4月号
第32回：初期診断による診断書の交付	5月号
第33回：職員の金銭横領について	6月号
第34回：退職した管理監督者からの残業代請求について	7月号
第35回：入院費用未払と連帯保証人について	8月号
第36回：独居高齢者の入院に伴う、アパートの解約や資産管理について	9月号
第37回：モンスターペイシェントに関する法整備について	10月号
第38回：職員の不祥事と退職金不支給について	11月号
第39回：来院拒否規則の策定について	12月号

宮崎県医師協同組合顧問弁護士 高山桂

【私の本】

イラストで学ぶ病気の基礎3	小林市 大塚伸昭	2月号
---------------	----------	-----

【宮崎県感染症発生動向】

各号

【郡市医師会だより】

西諸医師会	理事	吉村雄樹	2月号
西臼杵郡医師会	理事	崔林承	3月号
宮崎大学医学部医師会	会長	帖佐悦男	4月号
宮崎市郡医師会	会長	高村一志	5月号
宮崎市郡医師会	会長	高村一志	8月号
都城市北諸県郡医師会	会長	田口利文	8月号
延岡市医師会	会長	佐藤信博	9月号
日向市東臼杵郡医師会	会長	今給黎承	9月号
児湯医師会	会長	北村洋	10月号
西都市西児湯医師会	会長	松本英裕	10月号
南那珂医師会	会長	中村彰伸	11月号
西諸医師会	会長	内村大介	11月号
西臼杵郡医師会	会長	植松昌俊	12月号

【国公立病院だより】

高千穂町国民健康保険病院	前院長	久米修一	5月号
宮崎市立田野病院	院長	渡邊信二	7月号
国立病院機構宮崎東病院	院長	伊井敏彦	9月号

【宮崎大学医学部だより】

機能制御学講座－循環動態生理学分野－	教授	渡邊望	3月号
--------------------	----	-----	-----

外科学講座	医 局 長	石 井 廣 人	4月号
社会医学講座－法医学分野－	教 授	湯 川 修 弘	5月号
宮崎大学医学部附属病院患者支援センター	センター長	鈴 木 斎 王	6月号
解剖学講座－組織細胞化学分野－	教 授	菱 川 善 隆	7月号
医療人育成推進センター	教 授	小 松 弘 幸	8月号
宮崎大学医学部附属病院－手術部－	医 局 長	矢 野 武 志	9月号
宮崎大学医学部附属病院－総合周産期母子医療センター－			
	センター長	児 玉 由 紀	10月号
感染症学講座－寄生虫学分野－	教 授	丸 山 治 彦	11月号
発達泌尿生殖医学講座－小児科学分野－	医 局 長	此 元 隆 雄	12月号

【専門分科医会だより】

東洋医会	会 長	川 越 宏 文	3月号
外科医会	会 長	白 尾 一 定	4月号
皮膚科医会	会 長	西 田 隆 昭	6月号
整形外科医会	会 長	川 越 正 一	9月号
眼科医会	会 長	中 村 彰 伸	10月号
精神科医会	会 長	吉 田 建 世	11月号

【部会だより】

勤務医部会	部 会 長	嶋 本 富 博	5月号
学校医部会	理 事	高 木 純 一	7月号
病院部会・医療法人部会	医療法人部会長	赤 須 郁 太 郎	8月号
産業医部会	常任理事	池 井 義 彦	12月号

【報告（宮崎県医師会各種委員会）】

医学会誌編集委員会	5月号
医学会役員会	5月号
医学会誌編集委員会	11月号
健康教育委員会	11月号
健康スポーツ医学委員会	11月号

【報告（諸会議）】

県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	1月号
宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会	1月号
令和5年度女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議	1月号
九州医師会連合会令和5年度第1回各種協議会	1月号
九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会	1月号
令和5年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	1月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会第73回定例総会・令和5年度第1回運営委員会	1月号
令和5年度第54回全国学校保健・学校医大会	1月号

九州各県医師会学校保健担当理事者会	2月号
九州医師会連合会第412回常任委員会	2月号
九医連第126回臨時委員総会	3月号
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員会合同協議会	3月号
第123回九州医師会総会・医学会	3月号
第3回各郡市医師会長協議会	4月号
宮崎県医師会創立135周年記念医学会	4月号
九州医師会連合会第413回常任委員会	4月号
九州医師会連合会令和5年度第2回各種協議会	4月号
九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会	4月号
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会	6月号
九州医師会連合会第414回常任委員会	6月号
九州医師会連合会第415回常任委員会	7月号
第179回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）	8月号
第180回宮崎県医師会定例代議員会（概要）	8月号
第181回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）	8月号
令和6年度第81回宮崎県医師会総会	8月号
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議	8月号
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会	8月号
九州ブロック日医代議員（含・次期）連絡会議	8月号
令和6年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	8月号
九州医師会連合会第416回常任委員会	9月号
第127回九州医師会連合会定例委員総会	10月号
九州医師会連合会第417回常任委員会	11月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会第74回定例総会・令和6年度第1回運営委員会	11月号
九州医師会連合会第418回常任委員会	12月号

【報告（その他）】

医療事故調査制度における宮崎県の活動状況

宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 委員長

国立病院機構 宮崎東病院 比嘉利信 5月号

第25回宮崎県医師会医家芸術展 10月号

宮崎県医師会親善ゴルフ大会 12月号

【宮崎県医師協同組合だより】

医師協同組合提携メディカルカードのキャンペーンについて 1月号

医師協同組合取扱い保険について 3月号

医師協同組合提携メディカルカードのキャンペーンについて 5月号

休診共済のご案内～医師の休業を補償します～ 7月号

宮崎県医師協同組合 第40回通常総代会・理事会	8月号
医師協同組合の事業内容について	9月号
グループ保険（団体定期保険）のすすめ	11月号

【宮崎県医師国保組合だより】

保健事業のご案内	1月号
歩こう会について（予告）	2月号
保健事業のご案内	2月号
健康診断のご案内	3月号
令和6年度の保険料賦課額について	4月号
「第24回歩こう会」に参加して	宮崎市長 玉置昇 5月号
令和5年度宮崎県医師国民健康保険組合第130回通常組合会	5月号
保健事業のご案内	6月号
保健事業のご案内	7月号
令和6年度宮崎県医師国民健康保険組合第131回通常組合会	9月号
任期満了に伴う役員改選結果について	9月号
健康診断について	10月号
保健事業のご案内	12月号

【追悼のことば】

仮屋敏郎先生	都城市北諸県郡医師会	3月号
林克裕先生	日向市東臼杵郡医師会	5月号

【ニューメンバー】

河野鉄（かわの てつ）	日南市	2月号
野村信介（のむら しんすけ）	都城市	2月号
石川哲憲（いしかわ てつのり）	宮崎市	7月号

【診療メモ】

新型コロナウイルス感染症診療について		
宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 感染症内科	高城一郎	1月号
梅毒患者数の増加とその対応について		
きくち皮膚科泌尿器科クリニック	菊池英維	2月号
耳鳴診療のコツ（難聴・睡眠評価と音響治療）		
吉田病院 耳鼻咽喉科・精神科		
宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室	清水謙祐	3月号
臨床研究の倫理審査および特に症例報告の規制対応について		
宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構 医学部附属病院		
清武サテライトブランチ ヘルスケア研究部門 副部門長・特別教授		
株式会社ユリイカワークス 代表取締役	有村保次	4月号
食物アレルギーについて		
宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野	山元綾子	5月号

遺伝学的検査と遺伝カウンセリング

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 土 井 宏太郎 6月号
疾患修飾薬（レカネマブ）について

野崎病院 認知症疾患医療センター 宇田川 充 隆 7月号
新時代を迎えた乳癌診療～最近のトピックも含めて～

さがら病院宮崎 乳腺外科 植 田 雄 一 8月号

アイフレイルについて 県立宮崎病院 眼科 石 合 理 崇 9月号

依存症治療について 大悟病院 精神科 大 塚 和 之 10月号

子ども虐待について 県立宮崎病院 小児科 内 村 絵 美 11月号

がんの陽子線治療

指宿市 メディポリス国際陽子線治療センター センター長 荻 野 尚 12月号

【宮大医学部学生のページ】

第19回宮崎大学清花祭～一祭合彩～開催報告

清武キャンパス実行委員長 宮崎大学医学部医学科4年 川 畑 隆 士

医学展実行委員長 宮崎大学医学部医学科4年 末 安 諒 河 1月号

延岡のお医者さんがかっこいい大人だらけだった話

宮崎大学医学部医学科5年 吉 田 日 和 2月号

部活動紹介～漢方部～ 宮崎大学医学部医学科3年 眞 城 希 実 3月号

医師国家試験と国試対策委員会の活動

宮崎大学医学部医学科6年 奥 田 龍之介 4月号

現在の医学科のカリキュラム 宮崎大学医学部医学科4年 鬼 塚 飛 駆 5月号

令和6年度新歓委員会からご報告 宮崎大学医学部医学科4年 岩 名 凜太郎 6月号

部活動紹介～サッカー部～ 宮崎大学医学部医学科5年 川野元 悠 人 7月号

音楽祭実行委員よりご報告

第21回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会 実行委員長

宮崎大学医学部医学科4年 中 田 薫 子 8月号

早期大学病院実習の成果 宮崎大学医学部医学科1年 大 道 モ モ 9月号

学生主体の活動実現に向けて 宮崎大学医学部医学科4年 酒 井 麗 奈 10月号

宮崎大学学園祭第20回清花祭

清花祭清武キャンパス実行委員長 小 迫 勇 太 11月号

研究室配属について～麻酔生体管理学教室～

宮崎大学医学部医学科3年 安 東 知 晃 12月号

【その他】

宮崎県医師会役員等名簿 7月号

宮崎県医師会理事業務分担 8月号

各郡市医師会役員等名簿 8月号

令和6年総目次 12月号

【お知らせ】

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	各 号
郡市医師会への送付文書	各 号
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	各 号
日州医事原稿募集のお知らせ	各 号
カット・イラストの募集	1, 2, 11月号
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	1～3, 6, 8, 9, 12月号
女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	1～3月号
日本医師会医師年金ご加入のすすめ	1, 2, 7, 12月号
医療事故調査制度相談窓口	2, 3, 6月号
令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	3, 4, 6, 8～12月号
第25回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！	4, 5月号
地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	5～10月号
「はまゆう随筆」原稿募集	5, 6月号
第8回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	7～9月号
第25回宮崎県医師会医家芸術展	7, 8月号
「新春随想」原稿募集	10, 11月号
“8月に本県を襲った地震および台風”に関する原稿募集	10, 11月号
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	1月号
勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～（医師会・医師協同組合）	3月号
宮崎県医師会諸会費について	4月号
宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の取組みに係る医療機関対象調査について	4月号
第55回全国学校保健・学校医大会「分科会」の演題募集	4月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	5月号
第55回全国学校保健・学校医大会の開催について	7月号
第55回全国学校保健・学校医大会の参加申込について（事前参加登録期間の延長）	9月号
日本医師会定例会見ページのご案内	10月号
【宮崎県】心不全療養指導士・心臓リハビリテーション指導士資格取得助成について	12月号
年末・年始の休館について	12月号

【案 内】

令和6年度第81回宮崎県医師会総会	5月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	8, 9月号

【公 示】

宮崎県医師会役員等の選挙について	4月号
宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿	6月号

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
11月1日	・新型コロナウイルス感染症に係る定期の予防接種の実施にあたっての留意点について ・令和6年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施について ・個人番号カード交付申請書兼電子証明書発行申請書と一体化した出生の届書に係る周知依頼について ・マイナ保険証と資格確認書に係る広報用ポスターについて（依頼） ・令和6年度死体検案研修会（基礎）の開催について ・令和6年度死体検案研修会（上級）の開催について ・令和7年度シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」の開催について ・疑義解釈資料の送付について（その13） ・ウパダシニブ水和物製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）の一部改正について ・ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（尿路上皮癌）の一部改正について
11月8日	・2024年度科学的介護情報システム（LIFE）研究会について（情報提供） ・「介護サービス事業者経営情報の報告等に関するQ&A（Vol.2）」の発出について ・労災保険指定医療機関の指定申請の勧奨の実施について ・日本医師会、日本損害保険協会、損害保険料率算出機構による「Webアンケート調査」へのご協力について ・災害拠点病院の調査について ・妥結率等に係る報告書の見直しについて ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・セミナー『自分らしく生き抜くヒント～「人生会議」はじめてみませんか？～』のご案内 ・「病原微生物検出情報」の送付について
11月12日	・日本医師会「オンライン診療に関する事例登録フォーム」への情報提供について（依頼） ・令和6年度犯罪被害者週間に関する広報啓発事業について（御案内） ・業務用厨房施設における一酸化炭素中毒事故の防止について（周知依頼）

送付日	文 書 名
11月12日	・ 検査料の点数の取扱いについて ・ 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・ 疑義解釈資料の送付について（その14） ・ 令和6年11月8日からの大雨に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・ 令和6年11月8日からの大雨にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について
11月15日	・ 今シーズンのインフルエンザ総合対策の推進について ・ 麻しんの国内での報告数増加に伴う注意喚起について（協力依頼） ・ 「ヘニパウイルス感染症診療指針」の周知について ・ 令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和6年度調査）への協力依頼（2回目）について ・ 令和6年能登半島地震による被災に伴う保険診療関係等の特例措置の期間の延長について ・ 令和6年11月8日からの大雨に伴う災害にかかる介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・ 令和6年11月8日からの大雨の被災者に関する既往歴等の提供について ・ 令和6年11月8日からの大雨による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
11月19日	・ 冬季の省エネルギーの取組について（周知依頼） ・ 「使用上の注意」の改訂について ・ 「医療安全推進週間」の取組について（周知依頼） ・ 2024年度第2回認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）【Webによる研修】の開催について（情報提供） ・ 令和6年11月8日からの大雨に伴う災害による被災者の定期検査等の取扱いについて
11月22日	・ オンライン資格確認を導入している医療機関における本年12月2日以降の資格確認方法について（周知依頼） ・ オンライン資格確認の導入義務化対象外の医療機関および導入の経過措置が適用されている医療機関における本年12月2日以降の資格確認方法について（周知依頼） ・ 医療機関等の通常の受付窓口とは異なる動線でモバイル端末等を用いたオンライン資格確認（居宅同意取得型）利用に関するリーフレット送付について（周知依頼） ・ 季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの定期的予防接種における接種時期等について

送付日	文 書 名
11月22日	・ 保険医療機関等電子申請・届出等システムのご利用案内の送付について ・ 第三者行為に係る診療報酬明細書（レセプト）の特記事項欄記載依頼文書の送付について（お願い） ・ 令和6年度厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会（第3回）のご案内について ・ 令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その12） ・ 令和6年11月8日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について
11月26日	・ 重要 令和6年の医師の届出について ・ 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・ 「日本地域包括ケア学会第6回大会」の開催について ・ 第30回（令和6年度）日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について
11月29日	・ 令和6年度介護事業実態調査（介護従事者処遇状況等調査）へのご協力依頼について（再周知） ・ 科学的介護情報システム（LIFE）の令和6年度報酬改定に対応したフィードバックの掲載開始について ・ 疑義解釈資料の送付について（その15） ・ 日本学校保健会が主催する研修会（オンデマンド開催）の開催要項について（送付） ・ 令和6年9月能登半島豪雨への医療支援に対するお礼並びにご報告

<認可特定保険業者> 公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格
64歳6カ月未満の日本医師会会員
(会員区分は問いません)

保険料は
いつでも
増減できます!
余裕資金は随時払で
まとめて
増額できます。

人生100年時代に
一生涯受け取れる
年金を準備できます。

予定利率は1.5%※
事務手数料は
払込保険料に対して
0.25%

※令和6年4月時点

キャリアによって
年金制度が変わる
医師の
ライフスタイルに
あった年金です。



医師としての使命を果たすあなたに。
医師年金でキャリア後の
安心を手に入れましょう。



ぜひ
お試しください

医師年金ホームページで、 簡単シミュレーション!

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、
簡単に受取年金額のシミュレーションができます。



医師年金 検索

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

公益社団法人 **日本医師会** 年金福祉課

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
TEL: 03-3942-6487 (直通) FAX: 03-3942-6503
受付時間: 午前9時30分～午後5時(平日)
E-mail: nenkin@po.med.or.jp



20240401S25

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



日本胆道学会で5年ぶりに名古屋を訪れました。ICIや包括的GPなど近年進歩した癌治療から胆石などの日常診療まで網羅した非常に濃い内容で勉強になりました。60周年を迎えた学会の歴史を振り返る特別企画があり、第一外科の先代教授で2013年に急逝された千々岩一男先生についても触れられていました。胆道学を

牽引された先生に10年以上ご指導いただき、薫陶を受けられたことに感謝するとともに、懐かしい思い出が蘇りました。

胆道学会への初参加は2006年の第42回仙台開催で、「ss胆嚢癌の治療戦略」を発表しました。18年前に議論された内容については完全な解答はまだ得られていませんが、胆道癌診療ガイドラインにおいてもおおむねコンセンサスが得られていると確信しています。発表後に指導医であったK先生に連れて行っていただいた、文化横丁の『源氏』というコの字カウンターの居酒屋は趣があり、その雰囲気には酔いしました。そのころ、居酒屋研究家の太田和彦氏の存在を知り、出張時の居酒屋探訪は私の趣味の一つとなりました。

さて今回の開催地、名古屋と言えば『大基本店』です。太田氏が「日本居酒屋の最高峰」と絶賛する名店で、今回も学会後に浸ってきました。ほぼ満席でしたが、なんとか一角に滑り込み、まずは黒ラベルで独酌しました。この100年居酒屋は変わらずに優しく包んでくれます。少し感傷的になりましたが、今回の旅のためになり、そして活力を与えてくれるものでした。(永野)

* * *

兵庫県知事選挙ではテレビ、新聞といった既存メディアへの信頼が失われ、暴露系YouTuberによるSNSが流れを変えました。メディアの情報は誤りだったのか。SNSは信頼できるのか。何が正しいのでしょうか。自分で調べ判断するべきでしょうか、情報が操作されているとしたら、恐ろしい世の中になっています。日本人は過去に誤った経験があります。今の時代に危機感を抱かざるを得ません。優しく、正しい世の中にしたいですね。(石田)

* * *

マイコプラズマ感染症が増えています。当院小児科でも、日中は比較的調子がよいのに、夜間に激しい咳嗽があるマイコプラズマ肺炎のお子さんが目立ちます。解熱し咳が落ち着くまで自宅療養の方針ですが、咳の程度を家庭で判断するのが難しいという意見を聞きますし、また、クラスや部活・友人間で同じ症状が広がっているところもあるようで、学校活動への参加判断が難しいところです。(横山)

* * *

大相撲九州場所は1敗の大関同士が千秋楽結びの一番で対戦し、大関琴櫻がやはり大関の豊昇龍を破って優勝しました。来場所はともに綱取りの場所となります。大変楽しみです。横綱照ノ富士にも復活を期待します。ちなみに琴櫻の祖父は同じしこ名の元横綱、父は元関脇で師匠でもあります。豊昇龍の叔父は元横綱の朝青龍です。なお場所中に元横綱で相撲解説者の北の富士さんの訃報がありました。ご冥福をお祈りします。(高橋)

10月初旬にクリクラI到達度試験(兼卒業試験)と、その後の約1か月の秋季休暇が終了し、クリクラIIが始まりました。クリクラIIでは、大学以外の病院施設でも研修を行わせていただく機会があり、私は現在、宮崎出身ながら東京慈恵会医科大学を創設した高木兼寛先生のご縁で、交換実習として1か月慈恵会医科大学で実習させていただいております。クリクラIと異なり、IIではチームの一員として診療に加わるため、手技や問診など少しずつですが経験させていただいております。まずは国試合格が先ですが、将来よい医師になるために全力で実習に取り組みたいと思います。(境)

* * *

ついに臨床実習が始まりました。先生方がとても優しく丁寧にいろいろなことを教えてください、こんなにも学生に親身に指導して下さるのかと驚いています。勉強したことを実際に臨床現場で目にするとかなり印象に残ります。自宅でしっかり学習してから実習に臨むことで、実習をより有意義なものにしていきたいです。今の新鮮な気持ちを忘れずに、これから約2年間意欲的に取り組み、多くのことを学んでいきたいと思います。(家村)

* * *

徒歩通勤をしています。街並みや空を眺め、生活の音を聴き、人と行き交い、雑多なことを考えながらゆっくりと…。体のために始めましたが、心にもいいようです。歩きの小さな旅、豊かな時間です。(田畑)

(田畑)

今月のトピックス

会長のページ 支払基金改革

私も皮膚科での国保審査委員を拝命しております。毎月のことではありますが、これも地域医療への貢献と考えております。できればWebにて自宅で審査できればありがたいのですが…。

3 ページ

エコー・リレー

高石先生の外来診察時間について。確かに常識を打ち破った感があります。勝手ながら一方的に共感しております。当院でも16年前の開院時には通院しやすいようにと金曜夜間と土曜午後も診察を行ってございました。しかし勤務時間が長くなりますと疲れますのと、残念ながらスタッフの募集に影響するため、現在はこちらも中止しております。先生もお体に気をつけていただきつつ頑張ってください。応援しております。

22ページ

宮崎グルメ探訪 元祖 貝汁とちょこっと鮨（宮崎市）

谷口先生、まさにこの情報を待っておりました。

23ページ

身近なお困りごと相談室

11月に当院で起こった事例です。待合室の監視カメラ2台に窃盗の様子が撮影されており、犯人はすぐに特定できたのですが、警察官3名の現場検証とビデオ確認で1.5時間ほどかかりました。犯人が院外へ出ていく記録が重要ようです。今後、制定されるであろうカスハラ法案への対応として自院での出禁規則を作ったほうが職員も安心するかもと考え相談しております。先生方もお困りごとが出現いたしましたらお気軽にご連絡ください。

25ページ

（文責：菊池 英維）

日 州 医 事 第904号（令和6年12月号）（毎月1回10日発行）

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 金城 由歩, 境 笙太郎, 家村 和奈, 宮本貴由樹

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円（但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）